

環境レポート

資料編

～各政策に対応する「令和2年度事務事業実績評価表」～

長野県 飯田市

21'いいだ環境プランで掲げられた各政策に対応する事務事業実績評価表

事業No.	事務事業名	掲載ページ	事業No.	事務事業名	掲載ページ
13	総合的な空き家対策事業	(1)	187	森林づくり推進事業	(28)
33	交通体系整備事業	(2)	188	森林病虫害対策事業	(29)
45	リニア駅周辺整備事業	(3)	189	森林鳥獣被害対策事業	(30)
142	火葬事業	(4)	190	林道管理事業	(31)
143	環境衛生事業	(5)	191	林道整備事業	(32)
144	公衆便所事業	(6)	192	治山関連事業	(33)
145	畜犬事業	(7)	193	森林資源活用推進事業	(34)
146	環境保全推進事業	(8)	194	森づくり市民活動支援事業	(35)
147	環境汚染対策事業	(9)	195	森林経営管理事業	(36)
148	自然環境保全推進事業	(10)	196	森林公園維持管理事業	(37)
149	環境教育推進事業	(11)	203	起業家育成支援事業	(38)
150	環境モデル都市行動計画 推進事業	(12)	204	中小企業金融対策事業	(39)
151	おひさまのエネルギー利用 推進事業	(13)	235	社会基盤維持管理事業	(40)
152	もりのエネルギー利用推進 事業	(14)	242	天竜川総合学習館管理運 営事業	(41)
153	地域エネルギーマネジメン ト事業	(15)	246	土地利用計画推進事業	(42)
154	環境にやさしい交通社会形 成事業	(16)	248	公園維持管理事業	(43)
155	省エネルギー推進事業	(17)	249	飯田子どもの森管理運営 事業	(44)
156	エコライフ啓発普及事業	(18)	267	大平宿泊訓練施設管理事 業	(45)
157	環境課全活動推進事業	(19)	298	多様な学習交流支援事業	(46)
158	3R 推進事業	(20)	307	美術博物館資料調査研究・ 収集保管事業	(47)
159	地域環境美化推進事業	(21)	308	美術博物館展示公開事業	(48)
160	ごみの適正処理事業	(22)	309	美術博物館教育普及・活動 支援事業	(49)
161	最終処分場管理事業	(23)	310	美術博物館プラネタリウム 運営事業	(50)
171	日本型直接支払事業	(24)	327	林道災害復旧事業	(51)
174	元気な農村づくり推進事業	(25)	350	市営墓地経営事業	(52)
175	堆肥センター推進事業	(26)			
186	林業振興事業	(27)			

1 事業概要

		課名	ムトスまちづくり推進課	事業No.	13
事務事業名		会計	一般会計		
		事業区分	政策	実施区分	継続
		開始	H26	終了	
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称	
	戦略計画	○	8	新時代に向けたこれからの地域経営の仕組みをつくる	
			2	飯田市への人の流れをつくる	
	分野別計画			飯田市空家等対策計画	
法令・例規等			空家等対策の推進に関する特別措置法		
			飯田市空家等の適正な管理及び活用に関する条例		
事業目的	対象	空き家			
	意図	空き家について適正な管理を促進し、周囲に悪影響を与えるものは除却等を助言指導し、活用可能なものは移住定住策と連携して活用促進を図ります。空家化予防に努めます。			

2 事業内容

2年度取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)				
	・空家等審議会を開催し、飯田市空家等対策計画を進めました。 ・危険な空き家に対して助言・指導を行い、特定空家等については解体補助を活用して3件の自主解体を促しました。 ・空き家バンク制度により、18戸の売買や賃貸が成約し、活用が図られました。 ・移住定住のための空き家の活用に取り組む地域と連携し、空き家バンクによる流通を促進しました。 ・広報いいだにより、空き家の適正管理と空き家化予防を呼びかけました。		空き家バンク相談業務・登録事前調査委託			110					
			空き家対策支援補助			26					
			空き家活用等事業補助			5,186					
			特定空家解体補助金			1,140					
			委員報酬・謝礼・対策経費			354					
			会計年度任用職員			2,177					
					その他の経費		0				
活動指標	指標名 (数値で表せる活動量)	単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		
			計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	
	空き家バンク登録件数	件	30	15	30	15	30	22	30	25	
	空き家バンク成約件数	件	10	10	10	8	10	12	20	18	
	危険空き家等所有者への指導、助言件数	件	30	35	30	32	30	75	30	193	
	空き家の詳細調査件数	件	400	481	300	423	300	150	110	115	
2年度決算(千円)	予算額	16,394	特定財源内訳及び補正事項								
	決算額	8,993									
	財源の状況	国庫支出金	0								
		県支出金	0								
		地方債	0								
		その他	0								
一般財源	8,993										

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	2	1	5	10	9	14,217	6,816	空き家対策事業費
2	1	2	1	5	1	3	2,177	2,177	会計年度任用職員人件費
3									
4									
5									
6									
7									
振り返り課題認識		・空き家は増え続けており、課題のある空き家も増えて対応に苦慮する状況となっています。 ・特定空家の取組で一定の成果はありましたが、まだ困難な特定空家が残されています。 ・空き家バンクに多くの利用登録がありましたが、物件数が少なく希望に応えられない状況です。 ・地域で移住定住のために活用できる空き家の掘り起こしが始まりましたが、成果につながるのはこれからの状況です。							
上記の課題解決のための有効策		・課題のある空き家の発生を防ぐため、地域と協働した広報活動等が有効です。また、特定空家の課題解決には、粘り強い取組が必要です。 ・活用できる空き家の掘り起こしには、地域と連携した取組が有効です。							
次年度に向けての取り組み		・危険な空き家の所有者には、助言・指導を行って改善を求め、特定空家の所有者には、集中的な助言・指導と特定空家解体補助の活用により除却を進めます。 ・移住定住に向けた空き家の活用に取り組む地域の活動を支援し、効果的な空き家の活用を促進します。							

1 事業概要

		課名	リニア推進課	事業No.	33
事務事業名		会計	一般会計		
		事業区分	政策	実施区分	継続
		開始	H10	終了	
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称	
	戦略計画	○	12	リニア時代を支える都市基盤を整備する	
	分野別計画				
法令・例規等		道路運送法			
		道路交通法			
		地域公共交通活性化再生法			
事業目的	対象	市民			
	意図	市民の地域公共交通利用			

2 事業内容

2年度取組	取組内容	経費の内容	事業費(千円)
	<ul style="list-style-type: none"> ・飯田市地域公共交通改善市民会議を2回開催し、バス・乗合タクシーの運行や利用促進について協議し、乗り方教室及び公共交通の日(バス運賃割引)を9日間実施する等、新たなバス利用者の確保に取り組みました。 ・乗合タクシー山本西部山麓線の本格運行を令和2年4月から開始し、EVバスの実証運行を令和3年1月より市民バス循環線において開始しました。 ・新たなモビリティ検討チーム勉強会を3回開催し、自動運転とMaasの研究に取り組みました。 ・交通事業者へのコロナ感染防止対策支援および路線バス利用者の過密対策として増便を行いました。 	一般乗合旅客自動車運送事業補助金	126,200
地域公共交通改善市民会議負担金		3,125	
南信州広域連合負担金(南信州地域交通問題協議会)		4,050	
新たなモビリティの研究		152	
地域公共交通改善市民会議委員報酬ほか		282	
交通事業者感染症感染防止対策支援事業交付金		44,680	
その他の経費		0	

活動指標	指標名(数値で表せる活動量)	単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
			計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
			運行支援する市民バス路線数	路線	9	9	9	9	9	9
運行支援する乗合タクシー路線数	路線	14	14	13	13	14	14	14	14	
地域公共交通改善市民会議開催数	回	2	2	2	3	2	2	2	2	
実証運行路線数	路線	1	1	0	0	1	1	0	0	
バスの年間延べ利用者数	人		364,715		368,859		354,394		270,082	
乗合タクシーの年間延べ利用者数(実証含む)	人		22,110		20,782		19,317		15,193	

2年度決算(千円)	予算額	207,592	特定財源内訳及び補足事項								
	決算額	178,489	(国) 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金(10/10)								
	財源の状況	国庫支出金	31,535	(地) 過疎対策(充当率100%)							
		県支出金	0	(そ) 地域振興基金利子 12,149千円							
		地方債	36,000	(そ) 交通事業者感染症感染防止対策支援事業町村負担金 14,923千円							
		その他	29,072	(そ) ふるさと寄附金 2,000千円							
一般財源	81,882										

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	2	1	9	15	1	207,592	178,489	市民バス等運行業務費
2									
3									
4									
5									
6									
7									

振り返り課題認識	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者数は285,275人で、前年度比23.7%・年間延べ88,436人減少しました。(バス利用者：前年度比23.8%・年間延べ84,312人減少、乗合タクシー利用者：前年度比21.3%・年間延べ4,124人減少)新型コロナウイルス感染症が影響しました。
上記の課題解決のための有効策	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の意見を聞きながら、ダイヤ及び停留所を検討する等して、利用者にとって使いやすい公共交通を提供します。 ・乗り方教室や公共交通の日(バス運賃割引)実施により、公共交通のPRを行い、新たな利用者の掘り起しを行います。
次年度に向けての取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・地域公共交通改善市民会議及び部会において、利用しやすい公共交通について協議を行います。 ・リニア時代を見据えた、二次交通の在り方について検討を進めます。 ・EVバスの実証運行を継続して実施します。

1 事業概要

事務事業名	リニア駅周辺整備事業	課名	リニア整備課	事業No.	45
		会計	一般会計		
		事業区分	政策	実施区分	継続
		開始	H27	終了	R9
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称	
	戦略計画	○	12	リニア時代を支える都市基盤を整備する	
分野別計画					
法令・例規等					
事業目的	対象	リニア駅周辺			
	意図	リニア開業に向け、駅周辺を整備する			

2 事業内容

2年度取組	取組内容	経費の内容	事業費(千円)
	令和元年度に策定したリニア駅周辺整備の基本設計に基づき、実施設計に着手しました。(R2年度~R3年度) 「飯田・リニア駅前空間デザインノート」を具現化するために、規模や構造、意匠等の決定に向けた各種プロジェクトでの協議を進めました。 また、リニアの整備に伴う関連事業として、必要となるリニア駅周辺エリアの道路整備に取り組んでいます。	プロジェクト連携会議等報償費	468
プロジェクト連携会議等旅費		523	
リニア駅周辺整備関連業務等委託料		134,774	
事業用地購入費		0	
物件移転等補償費		0	
その他の経費		1,686	

活動指標	指標名 (数値で表せる活動量)	単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
			計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
			リニア駅周辺整備事業実施設計	%					0	0

2年度決算(千円)	予算額	605,552	特定財源内訳及び補足事項								
	決算額	137,451	(国) 社会資本整備総合交付金(街路事業) (5.5/10)								
	財源の状況	国庫支出金	11,220	(地) 公共事業等(充当率90%)							
		県支出金	0	(そ) ふるさと寄附金 1,800千円							
		地方債	10,500	(そ) リニア中央新幹線飯田駅整備推進基金繰入金 85,015千円							
		その他	86,815	1→2 繰越明許費 110,286千円							
一般財源	28,916	2→3 繰越明許費 429,275千円									

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	2	1	17	10	5	605,552	137,451	リニア駅周辺整備事業費
2									
3									
4									
5									
6									
7									
<p>振り返り課題認識</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施設計の協議や作業と並行して、プロジェクト体制による研究と検討を進め、次世代インフラPJとトータルデザインPJに関しては、計画に沿って進捗しています。コロナの影響を受ける面もありますが、ブランドクリエイティブPJが遅れているため、重点的に進めていく必要があります。また、3つのプロジェクトの連携を図り、建築の実施設計に向けての体制を構築していく必要があります。 									
<p>上記の課題解決のための有効策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・取り組みが遅れているブランドクリエイティブPJについては、上半期までに立ち上げます。参画事業者の発掘や育成等も視野に入れた具体的な取組を開始します。 									
<p>次年度に向けての取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本設計を踏まえ、規模、構造及び全体的なデザイン等を検討・決定し、年度末までに土木の実施設計を完了させます。 ・令和4年度からの建築設計や交通・エネルギーのスムーズな事業着手に向けたワーキング立上げに必要なプロポーザル等の準備を進めます。 									

1 事業概要

		課名	環境課	事業No.	142
事務事業名		火葬事業	会計	一般会計	
			事業区分	経常	実施区分 継続
			開始	終了	
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称	
	戦略計画				
	分野別計画				
	法令・例規等	○ 墓地、埋葬等に関する法律 及び 同施行規則 飯田市斎苑条例 及び 同施行規則 飯田市市外火葬場利用補助金交付要綱			
事業目的	対象	斎苑利用者			
	意図	快適な環境で市の斎苑を利用できる			

2 事業内容

2年度取組	取組内容	経費の内容				事業費(千円)				
	<p>快適な環境で市民が斎苑を利用できるよう斎苑の管理に努めるとともに、NPO法人飯田葬祭事業組合へ委託し火葬事業に取り組みました。あわせて、支障なく使用が出来るよう、斎苑施設の維持整備に努めました。</p> <p>上村・南信濃地区合併時の申し合わせにより、上村・南信濃地区住民の阿南斎場での火葬に対して、火葬利用料差額補助を行い、公平性を担保しました。</p> <p>新型コロナウイルス感染症対応として、施設内の消毒、感染レベルに応じた入場者数制限を実施しました。感染遺体の火葬についてもマニュアルを整備しました。</p>	斎苑管理費			13,613					
火葬業務委託事業費				21,165						
斎苑施設整備事業費				9,207						
市外火葬場利用支援事業費				941						
その他の経費				0						
活動指標	指標名 (数値で表せる活動量)	単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
			計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
	斎苑稼働日数	日	302	303	302	302	304	304	304	304
	事故等により火葬が出来なかった件数	件	0	0	0	0	0	0	0	0
	市外火葬場利用補助件数	件	36	18	36	30	33	30	36	23
2年度決算(千円)	予算額		47,948		特定財源内訳及び補正事項					
	決算額		44,926		(そ) 斎苑手数料 20,455千円					
	財源の状況	国庫支出金	0		(そ) 斎苑動物使用料 1,260千円					
		県支出金	0		(そ) 諸収入 39千円					
		地方債	0							
		その他	21,754							
一般財源	23,172									

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	4	1	4	10	1	15,990	13,613	斎苑管理費
2	1	4	1	4	10	2	21,357	21,165	火葬業務委託事業費
3	1	4	1	4	10	3	9,207	9,207	斎苑施設整備事業費
4	1	4	1	4	10	4	1,394	941	市外火葬場利用支援事業費
5									
6									
7									
振り返り課題認識		故障等による火葬炉の停止もなく、日程どおりの業務を遂行する事ができています。 市外火葬場利用申請者（遠山郷地区）に対して、利便性の向上策が必要と思います。 下伊那郡内4火葬場との情報交換、連携をしながら、問題解決をする必要があると感じています。							
上記の課題解決のための有効策		引き続き火葬場の設備メンテナンスを行うとともに、斎苑の老朽化対策を検討する必要があると考えています。 市外火葬場利用申請者（遠山郷地区）に対して、火葬料補助を行い、市民の利便性を高めました。 下伊那郡内4火葬場と新型コロナウイルス感染症対策について情報交換、連携を行いました。							
次年度に向けての取り組み		斎苑の老朽化対策を年次計画に沿って行い、快適な環境で市民が斎苑を利用できるように斎苑の管理を行います。 次期火葬場の構想について、郡内火葬場や広域連合と一緒に検討していきたいと考えています。							

1 事業概要

		課名	環境課	事業No.	143
事務事業名		環境衛生事業	会計	一般会計	
			事業区分	経常	実施区分 継続
			開始	終了	
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称	
	戦略計画				
	分野別計画				
	法令・例規等	○	動物の愛護及び管理に関する法律 化製場等に関する法律 公衆浴場の確保のための特別措置に関する法律		
事業目的	対象	生活環境（河川、周辺環境等）			
	意図	市民参加により良好に環境が保たれている			

2 事業内容

2年度 取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)				
	身近な環境を自分たちの手で改善する活動の一つとして、 全市一斉に河川清掃を実施するよう呼びかけました。 アメリカシロヒトリの食害から緑の環境を守るため、地区 団体がアメリカシロヒトリの共同防除を行うに際し、希望に より車両及び動力噴霧器の貸し出し並びに薬品の払出しを行 いました。 公共の場で死亡している動物（猫、タヌキ、ハクビシン等 ）を回収することで、道路等の衛生及び美観の維持に努めま した。		水辺等美化活動事業（河川清掃事業）		2,389						
			アメリカシロヒトリ対策事業		519						
			死亡動物回収事業		2,115						
			公衆浴場設備改善事業		432						
			その他の経費		0						
活動指標	指標名（数値で表せる活動量）	単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		
			計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	
	河川清掃参加人数	人	19,000	18,855	19,000	16,636	19,000	17,399	19,000	14,251	
	アメリカシロヒトリ防除車貸出件数(薬含む)	件	30	35	30	27	30	30	30	31	
	死亡動物回収件数	件	750	542	760	508	655	454	760	444	
	公衆浴場設備改善事業補助件数	件	1	1	0	1	0	0	0	1	
2年度 決算 (千円)	予算額	6,330	特定財源内訳及び補足事項								
	決算額	5,455	(県) 環境衛生費補助金 (1 / 2)								
	財源の 状況	国庫支出金	0								
		県支出金	216								
		地方債	0								
		その他	0								
一般財源	5,239										

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	4	1	4	11	1	6,330	5,455	環境衛生事業費
2									
3									
4									
5									
6									
7									
振り返り課題認識		1. 河川清掃の参加者の高齢化とそれに伴う事故が危惧され、地区内の担い手不足が心配です。2. アメリカシロヒトリ防除機材及び車両の老朽化による不具合が懸念されます。3. 死亡動物回収では、私有地も回収範囲と思っている市民が多い点が課題です。4. 公衆浴場利用者減少による公衆浴場経営悪化が懸念されます。							
上記の課題解決のための有効策		1. 危険性の低い作業に注力するように依頼します。2. 機材の定期的メンテナンスを行います。3. 私有地での死亡動物回収依頼受信の都度、私有地は回収しない旨を周知します。4. 公衆浴場の設備改善により、快適性が向上し利用者増加に繋がると考えています。							
次年度に向けての取り組み		1. 無理のない作業をして頂くよう引き続き各地区へ依頼し、河川管理者と協議を行います。2. 機材のメンテナンスを引き続き行います。一般市民が適用範囲となる民間保険へ継続加入します。3. 私有地での死亡動物回収依頼の都度、私有地は回収しない旨を通知します。4. 公衆浴場の設備改善により、快適度が向上するように補助します。							

1 事業概要

事務事業名		公衆便所事業		課名	環境課	事業No.	144
				会計	一般会計		
				事業区分	経常	実施区分	継続
				開始		終了	
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称			
	戦略計画						
	分野別計画						
	法令・例規等	○ 廃棄物の処理及び清掃に関する法律（第5条第5号）					
事業目的	対象	公衆トイレ					
	意図	常に良好な利用環境を保つ					

2 事業内容

2年度取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)				
	市内13箇所の公衆トイレ（中央公園1F・2F、長姫公園、長姫神社、扇町駐車場、市民館前、吾妻町公園、大宮神社、羽場権現堂、鼎名古熊展望公園、時又駅前、駄科駅前、上村天神峡、山の神）を、常にきれいに維持しました。 損壊、故障等を発見した際には、良好な利用環境の提供のため、直ちに修繕を行いました。 災害時の公衆トイレのあり方について庁内で検討を始めました。		公衆便所事業費				3,601				
				その他の経費				0			
活動指標	指標名 (数値で表せる活動量)	単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		
			計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	
	管理する公衆便所数	個所	13	13	13	13	13	13	13	13	
	改善要望等に対応し処理した件数 (率)	%	100	100	100	100	100	100	100	100	
2年度決算(千円)	予算額	4,367	特定財源内訳及び補足事項								
	決算額	3,601									
	財源の状況	国庫支出金	0								
		県支出金	0								
		地方債	0								
		その他	0								
一般財源	3,601										

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	4	1	4	12	1	4,367	3,601	公衆便所事業費
2									
3									
4									
5									
6									
7									
振り返り課題認識	冬季間の凍結対策、建物・設備の老朽化が課題です。								
上記の課題解決のための有効策	不具合や老朽化の状況に応じて建物改修、便器・器具等の更新を実施します。 また、中心市街地活性化事業の公園整備の中で、公衆便所についても該当として考えるように働きかけていきます。								
次年度に向けての取り組み	故障や不具合等の発生時には速やかに対処し、良好な利用環境を提供します。 災害時の公衆トイレのあり方について検討を進めます。								

1 事業概要

		課名	環境課	事業No.	145
事務事業名		畜犬事業	会計	一般会計	
			事業区分	経常	実施区分 継続
			開始	終了	
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称	
	戦略計画				
	分野別計画				
	法令・例規等	○	狂犬病予防法 及び 同施行規則 動物の愛護及び管理に関する条例 飯田市ポイ捨て等防止及び環境美化を推進する市民条例		
事業目的	対象	飼い主 及び 市民			
	意図	狂犬病を予防し、正しい飼い方を身につける			

2 事業内容

2年度取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)				
	狂犬病予防注射の集合注射を、4月(一次注射)に獣医師会の協力を得て市内各地で実施しました。新型コロナウイルス感染症により、延期した分は9月に行いました。 正しい飼い方やマナーを守った飼い方を啓発するため、市の広報等による、マナー啓発を実施しました。 地区から申し出のある犬の糞尿苦情に対応するため、マナー啓発看板の設置を行いました。 ノラ猫へのエサやりなどの飼い方のルールを守って頂くように個別指導を飯田保健所と共に行いました。		犬の登録事務及び狂犬病予防注射事務 マナー啓発事務 会計年度任用職員人件費				2,027 48 1,835				
活動指標	指標名 (数値で表せる活動量)	単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		
			計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	
	接種頭数	頭	4,900	4,715	4,900	4,541	4,900	4,407	4,900	4,150	
	啓発回数	回	3	3	3	3	3	3	3	3	
	看板設置箇所(単年)	箇所	6	11	6	6	6	10	6	6	
2年度決算(千円)	予算額	4,396	特定財源内訳及び補足事項								
	決算額	3,910	(そ) 犬登録事務手数料								
	財源の状況	国庫支出金	0								
		県支出金	0								
		地方債	0								
		その他	3,379								
一般財源	531										

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	4	1	4	13	1	2,481	2,075	畜犬事業費
2	1	4	1	4	1	3	1,915	1,835	会計年度任用職員人件費
3									
4									
5									
6									
7									
振り返り課題認識		1. 飼主のマナー向上(糞の放置等)が課題です。 2. 猫(特定の飼主のいない)の糞等による苦情が寄せられています。							
上記の課題解決のための有効策		1. 2. とともに、広報、啓発看板の設置が有効と考えています。 2. 必要に応じて原因者への飼育指導が必要と思われます。							
次年度に向けての取り組み		1. 2. とともに、引き続き広報、啓発看板の設置が有効と考えています。 2. 飯田保健所と連携して、現地調査と原因者への飼育指導を行います。また、地域の役員さんの協力が得られるように実施できると良いと考えています。							

1 事業概要

		課名	環境モデル都市推進課	事業No.	146
事務事業名		会計	一般会計		
		事業区分	経常	実施区分	継続
		開始	H10	終了	
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称	
	戦略計画				
	分野別計画	○	飯田市環境基本計画（21' いいだ環境プラン）		
	法令・例規等		環境基本法 飯田市環境基本条例		
事業目的	対象	市民			
	意図	環境保全活動を継続的に展開する			

2 事業内容

2年度取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)				
	飯田市の環境政策を適正に推進していくため、有識者、市民などで構成する環境審議会を4回、専門部会を計8回開催しました。委員から専門的な知見や市民の目線に立った意見をいただき、「環境文化都市の再構築」をテーマとした21' いいだ環境プラン第5次改訂計画及び飯田市地球温暖化対策実行計画（第3次飯田環境モデル都市行動計画）を策定しました。 21' いいだ環境プラン第4次改訂計画に基づく施策の進捗状況について環境レポートを作成し、公表しました。		環境審議会運営（報酬・旅費）					439			
			環境レポート作成関連費用					115			
			事務用機器借上、消耗品等一般経費					849			
			臨時職員人件費					1,802			
			21'いいだ環境プランパンフレット作成					249			
			環境保全協会負担金					30			
					その他の経費			0			
活動指標	指標名（数値で表せる活動量）	単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		
			計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	
	環境審議会に付議された事案数	件	2	2	5	3	3	3	7	5	
	環境審議会への参加者数	人	48	48	120	60	69	52	161	74	
2年度決算(千円)	予算額	3,743	特定財源内訳及び補足事項								
	決算額	3,484									
	財源の状況	国庫支出金	0								
		県支出金	0								
		地方債	0								
		その他	0								
一般財源	3,484										

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)	
1	1	4	1	5	1	3	1,822	1,802	会計年度任用職員人件費	
2	1	4	1	5	10	1	1,921	1,682	環境保全一般経費	
3										
4										
5										
6										
7										
振り返り課題認識		「環境文化都市」の再構築に向けてもう一度基本に立ち返ることを基本として、審議会に意見交換や議論を求め、21' いいだ環境プラン第5次改訂版及び飯田市地球温暖化対策実行計画を策定しました。「意識の共有」「行動の変容」「主体間の協働」を促し、市民、事業所、行政がそれぞれの立場で環境問題に取り組むためにも、引き続き審議会での議論はもちろんのこと、対話、実践を支える場としてのプラットフォームを構築し、推進していくことが必要です。								
上記の課題解決のための有効策		環境に関する地区懇談会を各地区で開催し、今までの取組の成果及び新しい計画の概要を説明し、意見交換をしながら進めていく必要があります。また、プラットフォームの在り方について、関係団体や地域と意見交換を行い、コンセプトの構築と具体的な取組内容を決定していくことが必要です。								
次年度に向けての取り組み		20地区での環境懇談会の開催、プラットフォーム構築に向けての各種団体との協議を行いながら、具体的な行動変容に向けた取り組みを加速化させていきます。また、環境審議会の意見を聴取しながら、21' いいだ環境プラン第5次改訂版の内容に沿って環境レポートの作成と公表をします。								

1 事業概要

		課名	環境課	事業No.	147
事務事業名		環境汚染対策事業	会計	一般会計	
			事業区分	政策	実施区分
			開始	終了	継続
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称	
	戦略計画				
	分野別計画	○	飯田市環境基本計画（21' いいだ環境プラン）		
	法令・例規等		環境基本法		
			騒音規制法		
			悪臭防止法		
事業目的		対象	市民の生活環境		
		意図	環境汚染が発生しない良好な生活環境の維持		

2 事業内容

2年度 取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)				
	・簡易浄化槽の適正な管理のために啓発・指導に取り組みました。 ・市内の主要な河川・地下水（井戸水）の水質検査を実施し汚染状況を確認しました。 ・リニア中央新幹線工事に伴う地下水への影響を把握するため、関係地の地下水の水位等を調査しました。 ・自動車騒音、悪臭、その他の測定により実態を確認しました。 ・環境汚染の発生に対し、長野県をはじめ関係機関と連携して速やかで適切な対応に努めました。		生活雑排水汚泥処理関連経費			876					
			河川水質保全関連経費			3,930					
			地下水水質管理関連経費			1,831					
			小規模水道管理費			0					
			騒音・悪臭その他公害防止対策費			4,113					
					その他の経費		0				
活動指標	指標名（数値で表せる活動量）	単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		
			計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	
	生活雑排水汚泥汲取量	kl	280	108.5	280	88.5	220	118.2	190	73.5	
	河川のBODの目標の達成率	%	100	100	100	95.5	100	100	100	100	
	市が幹旋する井戸水検査受検世帯数	世帯	200	183	200	227	200	156	150	209	
	騒音の環境基準達成率	%	70	60	70	80	80	80	70	80	
	悪臭の防止目標の達成率	%	100	100	100	100	100	100	100	100	
	微小粒子状物質（PM2.5）の現状と動向	基準達成・未達成	達成	達成	達成	達成	達成	達成	達成	達成	
2年度 決算 (千円)		予算額	12,800		特定財源内訳及び補足事項						
		決算額	10,750								
		財源の 状況	国庫支出金	0							
			県支出金	0							
			地方債	0							
			その他	0							
			一般財源	10,750							

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)	
1	1	4	1	5	11	2	2,068	876	生活雑排水汚泥処理事業費	
2	1	4	1	5	11	3	4,527	3,930	河川水質保全事業費	
3	1	4	1	5	11	4	1,912	1,831	地下水水質管理事業費	
4	1	4	1	5	11	5	25	0	小規模水道管理費	
5	1	4	1	5	12	1	4,268	4,113	騒音・悪臭その他公害防止対策費	
6										
7										
振り返り課題認識		・生活雑排水汚泥処理は、徐々に数量が減少してきており、今後の取組方針などについて見直しが必要です。 ・野良猫問題が増加傾向にあり、地域と協働して対応する体制づくりが必要です。								
上記の課題解決のための有効策		・生活雑排水汚泥処理については、関係部署と連携して、下水道接続、合併浄化槽設置の啓発を行います。 ・野良猫問題については、節度あるルール（室内飼養、不妊去勢措置の実施、個体標識の装着）の下で飼育に努めるように、地域、関係機関と連携して啓発を行います。								
次年度に向けての取り組み		・生活雑排水汚泥処理については、適正な汚泥除去等の維持管理を行うように、HP及び広報等により啓発を行います。 ・野良猫問題については、関係機関と連携して、苦情に対する迅速な対応と原因者へ適切な指導を行います。								

1 事業概要

		課名	環境課	事業No.	148
事務事業名		会計	一般会計		
		事業区分	政策	実施区分	継続
		開始		終了	
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称	
	戦略計画	○	10	豊かな自然と調和し、低炭素なくらしをおくる	
	分野別計画			飯田市環境基本計画（21' いいだ環境プラン）	
法令・例規等			環境基本法		
			環境基本条例		
			環境保全条例		
事業目的	対象	飯田市の自然環境			
	意図	飯田市の自然環境の保全			

2 事業内容

2年度 取組	取組内容			経費の内容				事業費(千円)			
	<ul style="list-style-type: none"> ・南アルプスユネスコエコパーク（南ア自然環境保全活用連携協議会(3県10市町村)）活動に取り組みました。 ・南アルプス（中央構造線エリア）ジオパーク（同協議会（県内4市町村））活動に取り組みました。 ・企画課とともに高・大生対象の遠山郷フィールドスタディに取り組みました。 ・市内のエコ・ジオ事業の調整のため担当者会議を開催しました。 ・遠山郷エコ・ジオ講座を開催し約60名の市民と遠山郷を楽しみました。 ・ジオパークの4年に一度の再認定審査に取り組みました。 			自然環境保全事業費				1,076			
				その他の経費				0			
	活動指標	指標名（数値で表せる活動量）	単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
			計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	
南アルプス遠山郷を訪れた人数		千人	200	210	200	151	200	113	200	28	
市内希少動植物保全団体数を把握		団体	10	9	10	9	10	9	10	9	
動植物調査報告件数		件	460	422	460	389	460	323	460	445	
自然環境保全啓発活動		回	5	6	5	7	5	7	5	6	
2年度 決算 (千円)	予算額	1,216	特定財源内訳及び補足事項								
	決算額	1,076									
	財源の 状況	国庫支出金	0								
		県支出金	0								
		地方債	0								
		その他	0								
一般財源	1,076										

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	4	1	5	13	2	1,216	1,076	自然環境保全事業費
2									
3									
4									
5									
6									
7									
振り返り課題認識	南アルプスエコパーク・ジオパークについて市民に周知を図り、現在加入している連携組織との活動に積極的に取り組み、交流人口の増加を図ります。								
上記の課題解決のための有効策	南アルプス自然環境保全活用連携協議会や南アルプスジオパーク協議会の活動を通じて関係市町村に情報発信を行います。								
次年度に向けての取り組み	遠山地区民や南信州観光公社等と連携し、エコパーク・ジオパークを活用した実践を進めます。ジオガイドの実践の場を設けるように努めます。								

1 事業概要

事務事業名		環境教育推進事業			課名	環境課	事業No.	149
					会計	一般会計		
					事業区分	政策	実施区分	継続
					開始		終了	
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称				
	戦略計画	○	10	豊かな自然と調和し、低炭素なくらしをおくる				
	分野別計画	飯田市環境基本計画（21' いいだ環境プラン）						
法令・例規等	環境教育等による環境保全の取組の促進に関する法律							
事業目的		対象	市民					
		意図	環境保全について理解を深め、環境保全活動を行う意欲の増進					

2 事業内容

2年度取組	取組内容			経費の内容				事業費(千円)			
	<ul style="list-style-type: none"> ・より広い環境意識の高まりと、人材の育成のため、環境教育のプログラムを整備しました。 ・環境アドバイザーや環境チェッカーを対象に講演会や研修会などの学習機会を設けました。 ・自然観察会を行い、自然とのふれあいの場を設けました。 ・市内外の学校や地域団体を対象に、環境産業公園やグリーンバレー千代の視察を通じて、環境保全への意識の高揚を図りました。 ・市内小学校4年生を対象に、自然環境保全ポスターの作製を通じて環境保全への意識の高揚を図りました。同様に、ごみの分別についての社会科副読本を作成し配布しました。 			環境教育推進関連事業				1,608			
			その他の経費				0				
活動指標	指標名 (数値で表せる活動量)	単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		
			計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	
	自然と触れ合いを持ったことがある市民の割合	%	40	63.2	40	57.8	40	57.5	40	51.5	
	自然観察会への参加人数	人	50	10	50	8	50	15	50	63	
	環境学習会（講演会、研修会）への参加人数	人	100	456	100	68	100	45	100	83	
	環境産業公園、グリーンバレー千代の見学人数	人	1,000	1,178	1,000	637	1,000	597	750	605	
	自然環境保全ポスターの応募人数	人	650	517	650	587	650	489	500	686	
2年度決算(千円)	予算額	2,457	特定財源内訳及び補足事項								
	決算額	1,608	(そ) ふるさと寄附金								
	財源の状況	国庫支出金	0								
		県支出金	0								
		地方債	0								
		その他	140								
一般財源	1,468										

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	4	1	5	15	2	2,457	1,608	環境教育推進事業費
2									
3									
4									
5									
6									
7									
振り返り課題認識		環境について興味関心が高い人々だけではなく、多くの人に受け入れられる「環境を学ぶ場」の用意が必要であり、環境学習プログラムの整備を行いました。今後はこれを活かす講座等の開催やその他学びの場の設定を関係各所との協力の上で進める必要があります。							
上記の課題解決のための有効策		公民館・学校等、様々な関連団体と協力し、環境教育プログラムを活用した学びの場を設けます。特に幼少期での学習の効果は高いと考え、小学校への連続講座の実施などを行います。							
次年度に向けての取り組み		整備したプログラムを有効に活用してもらえよう、講座等の開催方法や、学校教育への組み込みについて検討し、学校や地域に環境学習への取り組みを働きかけます。							

令和2年度事務事業実績評価表

1 事業概要

		課名	環境モデル都市推進課	事業No.	150
事務事業名		会計	一般会計		
		事業区分	政策	実施区分	継続
		開始	H21	終了	
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称	
	戦略計画	○	10	豊かな自然と調和し、低炭素なくらしをおくる	
	分野別計画			飯田市環境基本計画（21' いいだ環境プラン）	
				第2次飯田市環境モデル都市行動計画改訂版	
法令・例規等			飯田市環境基本条例		
			飯田市再生可能エネルギーの導入による持続可能な地域づくりに関する条例		
事業目的	対象	市民・事業者			
	意図	市民（地域団体）が、持続可能な地域づくりと温室効果ガスの削減のため、住民主体の再生可能エネルギー活用事業に取り組む			

2 事業内容

2年度取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)				
		地域環境権条例に基づき、地域公共再生可能エネルギー活用事業によって地域課題を解決しようとする地域団体に対し、2件の支援決定を行いました。環境モデル都市の取り組みを地域外へも情報発信するとともに水平展開を図りました。飯田市地球温暖化対策実行計画（第3次飯田市環境モデル都市行動計画）を策定しました。2050年までに飯田市の二酸化炭素排出量を実質ゼロをすることを旨とし、飯田市議会、飯田商工会議所と共同で「2050年いいだゼロカーボンシティ宣言」を行いました。	飯田市再生可能エネ導入支援審査会運営					126			
		地域環境権条例要綱検討					55				
		国、県との環境エネルギー政策意見交換・情報収集					0				
		環境先進自治体等を通じた情報発信・ネットワーク構築					285				
		気候変動適応策検討					0				
		中部環境先進5市サミットin飯田開催関連					0				
		環境モデル都市行動計画パンフレット作成					0				
		その他の経費					0				
活動指標	指標名（数値で表せる活動量）	単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		
			計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	
	再エネ導入支援審査会での指導・助言	回	10	2	10	4	8	4	8	11	
	環境先進自治体等との協議回数	回	12	3	12	2	16	3	11	13	
2年度決算(千円)	予算額	1,907	特定財源内訳及び補足事項								
	決算額	466									
	財源の状況	国庫支出金	0								
		県支出金	0								
		地方債	0								
		その他	0								
一般財源	466										

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	4	1	5	19	1	1,907	466	環境モデル都市行動計画進行管理事業費
2									
3									
4									
5									
6									
7									
振り返り課題認識		地域環境権条例に基づき、2件の事業支援決定を行いました。いずれも太陽光発電による事業です。今後はF I T（固定価格買取制度）における買取価格が低下することから、太陽光発電事業による従前と同じような事業展開が困難となっていくことが予想されます。							
上記の課題解決のための有効策		買取価格の低下の少ない水力及び木質バイオマスを活用した発電事業の実施の支援又はF I T制度に頼らない太陽光発電による事業の推進が有効です。							
次年度に向けての取り組み		当面は未だF I Tにおける有利な買取価格を生かした事業が見込まれるので、それについての支援を行う一方、水力又は木質バイオマスを活用した事業の支援及びF I Tに頼らない事業実施について可能性を模索していきます。							

1 事業概要

		課名	環境モデル都市推進課	事業No.	151
事務事業名		会計	一般会計		
		事業区分	政策	実施区分	継続
		開始	H9	終了	
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称	
	戦略計画	○	10	豊かな自然と調和し、低炭素なくらしをおくる	
		飯田市環境基本計画（21' いいだ環境プラン）			
	分野別計画	第2次飯田市環境モデル都市行動計画改訂版			
飯田市環境基本条例					
法令・例規等					
事業目的		対象	市民		
		意図	太陽光エネルギーを発電や熱として利用することで化石燃料使用の削減と省エネ意識の高揚を図り、温室効果ガス排出量を削減する。		

2 事業内容

2年度取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)				
	地球温暖化防止のための温室効果ガスの削減に向けた取組として、太陽光発電設備108件、蓄電システム121件（うち太陽光発電設備と蓄電システムとの同時設置54件）及び太陽熱温水器8件の設置に対する補助を行いました。地域の民間事業者との公民協働による太陽光発電事業を推進し、環境意識の向上を図りました。メガソーラーいいだの適切な管理とPRにより太陽光発電の普及啓発を図りました。		太陽光発電設備・蓄電システム設置補助				21,294				
		太陽熱温水器設置補助				240					
		太陽光市民共同発電グリーン電力使用料				9,217					
		メガソーラーいいだ運転補助、PR施設管理他				2,187					
		その他の経費				0					
活動指標	指標名（数値で表せる活動量）	単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		
			計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	
	太陽光発電設備設置補助対象の設置容量	kW	1,334	1,550	1,334	1,621	1,080	1,186	1,080	836	
	蓄電システム設置補助交付件数	件	40	22	40	30	40	78	40	121	
	太陽熱温水器設置補助交付件数	件	40	21	40	24	40	18	40	8	
	メガソーラーいいだ維持管理出勤回数	回	15	21	15	16	15	15	15	16	
2年度決算(千円)	予算額		34,459								
	決算額		32,938								
	財源の状況	国庫支出金	0								
		県支出金	0								
		地方債	0								
		その他	4,263								
一般財源		28,675									
特定財源内訳及び補正事項 (そ) 市民共同発電売電収入 963千円 (そ) ふるさと寄附金 3,300千円											

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)	
1	1	4	1	5	19	3	34,459	32,938	おひさまのエネルギー利用推進事業費	
2										
3										
4										
5										
6										
7										
振り返り課題認識		年度を通じた補助金交付件数は、太陽光発電設備108件、蓄電システム121件（うち太陽光発電設備との同時設置54件）、太陽熱温水器8件となり、特に太陽光発電設備と蓄電システムの同時設置件数は前年比4倍を超える結果となりました。固定価格買取制度の価格が下落するなか、市民の太陽光発電設備の設置意欲にブレーキがかからないよう蓄電システムの普及にも注力し、エネルギーの域産域消を進める必要があります。								
上記の課題解決のための有効策		2050年いいだゼロカーボンシティに向けて、太陽光発電設備は依然として設置が必要であることから引き続き支援を行います。エネルギーの域産域消を進めて地域内経済循環を行う必要からも、太陽光発電の自家消費モデル、蓄電システムの普及に注力します。								
次年度に向けての取り組み		太陽光発電設備と蓄電システムの設置の拡大に向けて、太陽光発電設備の設置容量増加と蓄電システムの導入数の増加を図るための補助制度の要綱改正を行うとともに、引き続き運用改善に取り組みます。								

1 事業概要

		課名	環境モデル都市推進課	事業No.	152
事務事業名		会計	一般会計		
		事業区分	政策	実施区分	継続
		開始	H14	終了	
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称	
	戦略計画	○	10	豊かな自然と調和し、低炭素なくらしをおくる	
	分野別計画			飯田市環境基本計画（21' いいだ環境プラン）	
			第2次飯田市環境モデル都市行動計画改訂版		
法令・例規等			飯田市環境基本条例		
事業目的	対象	市民、事業者			
	意図	地域内に賦存する木質バイオマス資源を活用し温室効果ガスの削減を図るとともに地域経済の好循環を目指す			

2 事業内容

2年度取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)			
	地球温暖化防止のための温室効果ガスの削減と環境学習の一環として、公共施設への木質バイオマス機器導入を小学校10台、自治振興センター2台、図書館2台、児童館1台、計15台行いました。 民間向けバイオマス活用機器設置への助成として、ペレットストーブ5台、薪ストーブ14台、計19台の設置に対する補助を行いました。 渋谷区とのみどりの環交流は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となり、次年度以降の交流や、将来的な共生を見据えた方策について渋谷区と協議しました。		木質バイオマス機器導入推進			9,500				
			渋谷区とのみどりの環交流			0				
			ペレットストーブ運用にかかる費用			64				
			公共施設ペレットストーブ利用推進における一斉点検			1,423				
			その他の経費			0				
活動指標	指標名 (数値で表せる活動量)	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度		令和2年度			
			計画	実績	計画	実績	計画	実績		
	木質バイオマス機器の新規導入	件	38	30	38	31	42	29	41	34
	渋谷区とのみどりの環交流参加人数	人	160	160	160	72	100	180	100	0
2年度決算(千円)	予算額	11,815	特定財源内訳及び補正事項							
	決算額	10,987	(県) 木質バイオマス循環利用普及促進事業補助金 (3/4)							
	財源の状況	国庫支出金	0	(地) 合併特例 (充当率95%)						
		県支出金	375	(そ) ふるさと寄附金						
		地方債	5,800							
		その他	1,400							
一般財源	3,412									

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	4	1	5	19	4	11,815	10,987	もりのエネルギー利用推進事業費
2									
3									
4									
5									
6									
7									
振り返り課題認識		公共施設へのペレットストーブは、既存機器の設置状況を踏まえ、日常のメンテナンス、修繕とともに、更新、新規導入をバランスよく、柔軟な計画を策定したうえで導入していくことが必要です。また、民間向け木質バイオマス活用機器設置の普及については、啓発などに工夫した取り組みが必要です。森林の価値を共有する都市部との地域間交流については、地域そのものの魅力を発信する交流の拡大をする中で、将来的な共生を見据えた行動を起こす必要があります。							
上記の課題解決のための有効策		公共施設へのペレットストーブの導入は、適切な配置とメンテナンスを行うことで政策効果を最大限発揮できるようにすることが有効です。また、民間向け木質バイオマス活用機器の普及は、利用しなくなる啓発を行い、導入のきっかけをつくるのが効果的です。渋谷区とのみどりの環交流事業は、新たな地域資源を掘り起こし、魅力発信することが必要です。							
次年度に向けての取り組み		17年が経過した公共施設ペレットストーブ機器については政策効果を発揮できるよう、メンテナンスと既存機器の更新を中心に取り組みを進めます。民間向け木質バイオマス活用機器は、使用、手入れ方法や炎のある暮らしの良さを伝えるなど工夫を凝らした工法により普及を図ります。渋谷区とは交流事業の実施とともに、将来的な共生について協議を進めます。							

1 事業概要

		課名	環境モデル都市推進課	事業No.	153
事務事業名		地域エネルギーマネジメント事業	会計	一般会計	
			事業区分	政策	実施区分
			開始	H21	終了
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称	
	戦略計画	○	10	豊かな自然と調和し、低炭素なくらしをおくる	
			12	リニア時代を支える都市基盤を整備する	
	分野別計画			飯田市環境基本計画（21' いいだ環境プラン）	
				第2次飯田市環境モデル都市行動計画改訂版	
法令・例規等			飯田市環境基本条例		
事業目的	対象	市民、事業者			
	意図	市民、事業者が小水力発電事業を推進し、売電収益を活用した持続可能な地域づくりを実施します。また、リニア時代にふさわしい低炭素な社会づくりを推進します。			

2 事業内容

2年度取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)				
	<p>小沢川小水力発電は、かみむら小水力株式会社が新たな施工業者である(株)シーテックとの詳細設計を進めるために、前年に引き続き経営会議に参画しながら側方支援を実施しました。また、各種許認可を具体的に進めるために、長野県が実施した「小水力キャラバン隊」に参加し、今後の進め方について整理を行いました。</p> <p>リニア駅周辺低炭素街区は、移転街区に対する「環境共生住宅」補助制度を確定後、該当者全員に対して個別訪問を実施し、制度の周知を行いました。</p>		<p>小沢川小水力発電事業化支援</p> <p>リニア駅周辺低炭素街区の構築</p> <p>その他の経費</p>				<p>2,543</p> <p>0</p> <p>0</p>				
活動指標	指標名 (数値で表せる活動量)	単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		
			計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	
	かみむら小水力(株)経営会議への参画	回	48	48	12	13	12	12	12	2	
	リニア駅周辺エネルギー自立可能性調査実施	回	1	1	-	-	-	-	-	-	
	リニア駅周辺整備検討回数	回	5	6	5	15	5	5	6	4	
	リニア移転街区低炭素化の検討	回	1	1	1	1	1	1	3	13	
	新たな小水力発電事業の検討	回							1	1	
2年度決算(千円)	予算額	2,662	特定財源内訳及び補足事項								
	決算額	2,543									
	財源の状況	国庫支出金	0								
		県支出金	0								
		地方債	0								
		その他	0								
一般財源	2,543										

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)	
1	1	4	1	5	19	5	224	105	地域エネルギーマネジメント事業費	
2	1	4	1	5	1	3	2,438	2,438	会計年度任用職員人件費	
3										
4										
5										
6										
7										
振り返り課題認識		<p>天竜川上流河川事務所砂防堰堤工事が令和3年10月着工であることが判明したため、導水管理設工事が同調できるよう、かみむら小水力株式会社の側方支援をしながら工期に合わせたスケジュール管理を行うことが必要です。</p> <p>リニア移転街区の補助制度は多岐にわたり添付書類も多いため、該当者への丁寧な説明はもちろんのこと、施工事業者に対しても引き続き制度の周知を図り、「環境共生住宅エリア」を構築していくことが必要です。</p>								
上記の課題解決のための有効策		<p>令和3年12月期限のF I T申請から逆算しながら、事業の進捗状況の確認及び課題の整理を定期的に行い、天竜川上流河川事務所の事業スケジュールに遅れることなく事業が進められるようかみむら小水力株式会社の側方支援をします。</p> <p>リニア移転街区の補助制度の狙いと制度が分かるよう、チラシの作成等も含め、わかりやすいアプローチが必要です。</p>								
次年度に向けての取り組み		<p>12月にF I T申請が完了するよう、引き続きかみむら小水力株式会社を側方支援していきます。</p> <p>リニア移転街区の第2次募集への応募者に対しても、新築住宅が環境共生住宅となるよう、街区が決定次第補助制度の周知を行います。</p>								

令和2年度事務事業実績評価表

1 事業概要

		課名	環境モデル都市推進課	事業No.	154
事務事業名		会計	一般会計		
		事業区分	経常	実施区分	継続
		開始	H21	終了	
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称	
	戦略計画	○	10	豊かな自然と調和し、低炭素なくらしをおくる	
	分野別計画			飯田市環境基本計画（21' いいだ環境プラン）	
			第2次飯田市環境モデル都市行動計画改訂版		
法令・例規等			飯田市環境基本条例		
事業目的	対象	市民、事業所及び行政			
	意図	低炭素な移動手段への転換を推進する取組として、自転車の活用及びノーマイカー通勤、公共交通の利用を推奨し、温室効果ガス排出量を削減する			

2 事業内容

2年度取組	取組内容			経費の内容				事業費(千円)		
	低炭素な交通手段への転換を推進するため、市民の自転車利用促進を目的とした自転車市民共同利用システムを運営しました。 また、電気自動車による低炭素車両の運行実証を継続するとともに、電気事業者、バス事業者との協働により、市民バス循環線において「EVバス運行実証」を開始しました。 「地域ぐるみ環境ISO研究会」が地球温暖化防止に向けて取り組んでいるノーマイカー一斉行動を支援し、事業所・市民・行政が一体となり、地域ぐるみで温室効果ガスの削減への取組を行いました。			自転車市民共同利用システム運営				2,244		
				低炭素車両の維持管理				129		
				その他の経費				0		
	活動指標	指標名 (数値で表せる活動量)	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度		令和2年度		
			計画	実績	計画	実績	計画	実績		
自転車市民共同利用システム走行距離		km	97,892	90,592	97,892	88,434	77,248	77,922	77,248	51,738
自転車普及啓発イベント実施回数		回	1	1	2	2	2	1	2	2
ノーマイカー通勤一斉行動参加者数		人	10,000	20,628	10,000	18,279	12,000	11,310	12,000	29,555
2年度決算(千円)	予算額	2,606	特定財源内訳及び補足事項							
	決算額	2,373	(そ) レンタサイクル使用料							
	財源の状況	国庫支出金	0							
		県支出金	0							
		地方債	0							
		その他	249							
一般財源	2,124									

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	4	1	5	19	6	2,606	2,373	環境にやさしい交通社会形成事業費
2									
3									
4									
5									
6									
7									
振り返り課題認識		事業開始から12年目を迎えた自転車市民共同利用システムについては、老朽化した車体の適正管理による安全性確保を行いつつ、新たなあり方を検討する必要があります。 電気事業者、バス事業者との協働によりEVバス運行実証を行い、環境にやさしい交通と域産域消に向けたエネルギーマネジメントを行う必要があります。							
上記の課題解決のための有効策		自転車市民共同利用システムの利用状況分析により、事業を整理し、自転車への移動手段の転換を図ることが有効です。 EVバス運行実証から、再エネ利用や充電システムを含むエネルギーマネジメントのあり方を研究することが有効です。							
次年度に向けての取り組み		2050年いいだゼロカーボンシティに向けて、交通分野の脱炭素化を促すため、自転車利用促進、次世代自動車の普及促進による移動手段の脱炭素化への転換と、再エネ利用によるエネルギーマネジメントの具体化を検討します。							

1 事業概要

		課名	環境モデル都市推進課	事業No.	155
事務事業名		会計	一般会計		
		事業区分	政策	実施区分	継続
		開始	H27	終了	
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称	
	戦略計画	○	10	豊かな自然と調和し、低炭素なくらしをおくる	
			12	リニア時代を支える都市基盤を整備する	
	分野別計画			飯田市環境基本計画（21' いいだ環境プラン）	
				第2次飯田市環境モデル都市行動計画改訂版	
法令・例規等			都市の低炭素化の促進に関する法律（エコまち法）		
			長野県地球温暖化防止条例		
			飯田市環境基本条例		
事業目的	対象	市民及び事業者			
	意図	地域の産業界を中心に、地域の気候風土を活かした省エネルギー住宅の飯田独自仕様の構築と流通を含めた仕組みづくりを行う。また、省エネルギー住宅改修への支援制度の構築を目指す。			

2 事業内容

2年度取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)			
		飯田市ZEHモデル推進協議会を設立し、市内建築物の省エネルギー性能を向上させる飯田市独自のガイドラインについて産学官で検討し、地域の気候風土にあった飯田版ZEH仕様を策定し、普及させる体制づくりと省エネ住宅改修への適用及び支援制度の研究を進めました。 市内企業への省エネルギーの取組に繋がる意識啓発のため、2～3月に動画配信によるWEBセミナーを開催しました。 前年度に実施した市内エネルギー消費実態調査結果の分析を行い、21' いいだ環境プランへの反映及び協力者への周知を行いました。	省エネルギー建築補助制度の研究					24		
		企業省エネルギーの啓発					187			
		エネルギー消費実態調査					119			
		その他の経費					0			
活動指標	指標名 (数値で表せる活動量)	単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
			計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
	ZEB/ZEH研究会・普及活動の実施回数	回	6	12	6	9	6	17	6	18
	企業省エネの意識啓発セミナー	回					1	1	1	1
	市内エネルギー消費実態調査	回					1	1	1	0
2年度決算(千円)	予算額		852							
	決算額		330							
	財源の状況	国庫支出金	0							
		県支出金	0							
		地方債	0							
その他		0								
一般財源		330								

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	4	1	5	19	7	852	330	省エネルギー推進事業費
2									
3									
4									
5									
6									
7									
振り返り課題認識		飯田版ZEH仕様を策定しましたが、今後地域産材の流通の仕組みづくりをはじめ、地元建設業者による供給体制や普及促進を図る体制の早期構築が必要です。また、リフォームでも省エネ化を進めるための飯田版ZEH仕様の適用方法などの検討が必要です。 省エネを利益につなげる企業省エネセミナーを受講いただき、具体的なアクションにつなげる必要があります。							
上記の課題解決のための有効策		飯田版ZEHへの理解を深めていただくために、エコハウスをモデル住宅として活用することや、有識者を招いて講演会を開催するなど、広く周知することが有効です。省エネへの取組は地域での新たな需要拡大につながることをより多くの事業所に理解いただきながら、国等の補助制度を活用した具体的な行動へ結び付けていくことが有効です。							
次年度に向けての取り組み		飯田市ZEHモデル推進協議会において、産業界などと協議を重ね飯田版ZEH仕様の普及啓発を図るとともに、リフォームへの適用などの研究を進めます。 企業省エネセミナーを引き続き開催し、多くの企業が行動に結びつくよう継続的に支援していきます。							

1 事業概要

		課名	環境モデル都市推進課	事業No.	156
事務事業名		会計	一般会計		
		事業区分	経常	実施区分	継続
		開始	H21	終了	
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称	
	戦略計画	○	10	豊かな自然と調和し、低炭素なくらしをおくる	
		飯田市環境基本計画（21' いいだ環境プラン）			
	分野別計画	第2次飯田市環境モデル都市行動計画改訂版			
飯田市環境基本条例					
法令・例規等					
事業目的		対象	市民、市民団体		
		意図	エコライフの実践、住宅の省エネルギー化を図る。環境人材教育とコミュニティ活動を展開する。市民団体が脱炭素社会の推進に関連した活動に主体的に取り組む。		

2 事業内容

2年度取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)				
	地球温暖化対策、エシカル消費などをテーマとした「エコ講座」を5回開催し、多様な主体にエコライフ普及を図りました。日常生活におけるゼロカーボン活動の普及を図るため、りんご並木のエコハウスを運営し、エコカフェ事業、エコライフコーディネーターによる啓発事業などを行いました。旧飯田測候所を適切に管理し、環境教育の拠点となる事業及び地域と協働したコミュニティ活動を創出するよう指定管理者とともに運営しました。また、飯田脱炭素社会推進協議会の運営及び支援を行い、一部延期となったものの、南信州環境フェアを開催し、ゼロカーボン社会の実現に向けた啓発を実施しました。		市民向けイベントのコーディネーター経費				221				
		エコハウスの管理運営				3,108					
		飯田脱炭素社会推進協議会への補助				10					
		旧飯田測候所の運営				5,352					
		その他の経費				0					
活動指標	指標名 (数値で表せる活動量)	単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		
			計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	
	エコハウス来場者数	人	10,000	6,060	10,000	5,234	6,000	4,221	6,000	1,707	
	エコハウスにおける講座実施回数	回	60	63	60	63	60	54	60	22	
	エコハウスにおける講座参加者数	人	700	939	700	852	800	702	800	176	
	エコライフ情報発信回数	回	12	12	12	12	12	12	12	12	
	旧飯田測候所来場者数	人	2,000	2,538	2,000	1,312	2,000	2,917	2,000	1,237	
施設を活用した環境学習事業等の回数	回	12	34	12	12	24	31	24	30		
2年度決算(千円)	予算額		8,746								
	決算額		8,691								
	財源の状況	国庫支出金	0								
		県支出金	0								
		地方債	0								
		その他	1,166								
一般財源		7,525									
特定財源内訳及び補正事項 (そ) 旧飯田測候所建物使用料 960千円 (そ) 旧飯田測候所土地使用料 6千円 (そ) ふるさと寄附金 200千円											

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)	
1	1	4	1	5	19	9	8,746	8,691	エコライフ啓発普及事業費	
2										
3										
4										
5										
6										
7										
振り返り課題認識		エコハウスの来場者が減少傾向にあります。今後、指定管理者と連携し、飯田版ZEHの普及活動や生活者視点でエコライフを呼びかける質的向上を追求する取組が必要です。旧飯田測候所は、環境人材の育成の場となるような環境学習の機会を創出し、環境に対する市民の意識を向上させる必要があります。また、施設の老朽化により修繕、改修等を必要とする箇所があり、来場者の安全確保を図ることが必要です。								
上記の課題解決のための有効策		指定管理者との協働によりエコハウスでの実施事業の内容と情報発信を充実させることがエコライフ普及に有効です。旧飯田測候所において、指定管理者が実施している環境学習の機会と内容を充実させ、地元のコミュニティ活動との両立を目指します。また、施設の保全、来場者の安全性に配慮し、計画的な施設整備を進めることが有効です。								
次年度に向けての取り組み		指定管理者と連携し、環境活動の拠点とにぎわいの場となるよう、飯田版ZEH仕様の普及を含めたエコハウスの活用に取り組めます。旧飯田測候所において、飯田自然エネルギー大学のほか、環境人材育成の契機となる講座などの開催を指定管理者とともに検討します。登録有形文化財として有効に活用すべく、施設整備計画を含めた施設のあり方を検討します。								

1 事業概要

		課名	環境モデル都市推進課	事業No.	157	
事務事業名		会計	一般会計			
		事業区分	政策	実施区分	継続	
		開始	H9	終了		
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称		
	戦略計画	○	10	豊かな自然と調和し、低炭素なくらしをおくる		
	分野別計画		飯田市環境基本計画（21' いいだ環境プラン）			
			第2次飯田市環境モデル都市行動計画改訂版			
		飯田市役所地球温暖化防止実行計画				
法令・例規等		地球温暖化対策の推進に関する法律				
		長野県地球温暖化対策条例				
事業目的		対象	南信州地域の事業所、教育機関			
		意図	事業所や教育機関は、ISO14001や「南信州いいむす21」などの環境マネジメントシステムをはじめとした環境改善活動に取り組む。			

2 事業内容

2年度取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)				
	庁内のISOでは、環境方針を見直し、環境文化都市実現に向けて全庁的な取組を強化しました。業務に即した運用を進めるためにISOへのSDGsの視点や事務事業管理システムとの統合について検討を進めました。トップインタビューでは、世界的な流れとなっているSDGsとESG金融をテーマに実施し、地域内普及への取組を開始しました。 「第4次飯田市役所地球温暖化防止実行計画」を策定し、事業所としての温室効果ガス削減の目標と取組内容を示しました。 「南信州いいむす21」の運用や「環境法令セミナー」の開催など地域の事業所と協働して環境改善に取り組みました。		ISO14001推進				278				
				その他の経費				0			
活動指標	指標名 (数値で表せる活動量)	単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		
			計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	
	南信州いいむす21訪問支援事業所数	件	40	26	—	—	—	—	—	—	
	南信州いいむす21登録・継続審査事業所数	件	10	20	10	17	10	28	—	—	
	「CO2削減一斉行動週間」の実施	人	2	3	3	3	3	2	12,000	29,555	
	ISO推進に係る外部研修派遣	人	10	8	10	12	10	7	—	—	
	相互内部監査員数	人	60	84	60	135	60	125	—	—	
	環境マネジメントシステム審査員補資格取得	人			1	1	—	—	—	—	
2年度決算(千円)	予算額	380	特定財源内訳及び補足事項								
	決算額	278									
	財源の状況	国庫支出金	0								
		県支出金	0								
		地方債	0								
		その他	0								
	一般財源	278									

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)	
1	1	4	1	5	19	12	380	278	環境改善活動推進事業費	
2										
3										
4										
5										
6										
7										
振り返り課題認識		「CO2削減一斉行動週間」は、昨年度の実施回数は2回でしたが、今年度は5回実施し、参加事業所数のべ362社、参加人数のべ29,555人と着実に取組の輪が広がっています。 「南信州いいむす21」では、下伊那の町村にも取り組みの支援を行い、3町村（高森町、阿南町、泰阜村）及び2事業所が新規登録となりました。今後も取組事業所の拡大を図ることが必要です。								
上記の課題解決のための有効策		「南信州いいむす21」の取組が事業所における環境改善活動の推進とつながり、企業利益さらには地域経済に結びつく取り組みとなるよう地域ぐるみ環境ISO研究会と研究します。 「CO2削減一斉行動週間」は、年間4回の取り組みを計画し、地域におけるさらなる取組の拡大を図ります。								
次年度に向けての取り組み		庁内のISOは、事務事業進行管理にSDGsの視点を組み込み、本来業務に取り組むうえでのひとつのツールとして活用できるよう関係課と協議・調整します。 「南信州いいむす21」でもSDGsをシステムに取り入れるように地域ぐるみ環境ISO研究会で研究を進めます。								

1 事業概要

		課名	環境課	事業No.	158
事務事業名		3 R 推進事業	会計	一般会計	
			事業区分	政策	実施区分
			開始	終了	継続
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称	
	戦略計画				
	分野別計画			飯田市環境基本計画（21' いいだ環境プラン）	
				飯田市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画	
				飯田市分別収集計画	
法令・例規等	○		廃棄物の処理及び清掃に関する法律		
			循環型社会形成推進基本法		
事業目的		対象	市民		
		意図	リデュース（発生抑制）、リユース（再使用）、リサイクル（再生利用）の推進		

2 事業内容

2年度 取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)	
	<p>本年度から新たに蛍光管のリサイクル回収事業を開始しました。回収方法は、市内蛍光管販売店を「協力店」として登録し、市民が持ち込み、これを市が回収します。一旦グリーンバレー千代に貯留した後、再資源化事業所に搬出します。7月から回収を始め、年度中2回搬出しました。</p> <p>稲葉クリーンセンターから発生する焼却灰の再資源化処理を継続して取り組みました。最終処分場の延命と、環境負荷の低減に大きく貢献しています。</p> <p>生ごみ処理機器購入費補助制度について、補助額を増額するなど一部を見直し、強化しました。結果希望者が増加し、事業が拡大しました。</p>		3 R 周知啓発関連経費			2,049		
			ごみ処理費用負担制度関連経費			17,213		
			資源回収事業補助金			648		
			焼却灰再資源化処理事業			69,904		
			容器包装リサイクル回収業務関係経費			49,177		
			リサイクルステーション管理事業経費			2,816		
			生ごみ処理機器購入費補助金関連経費			2,306		
			会計年度任用職員			6,601		
					その他の経費			0
活動指標			指標名（数値で表せる活動量）	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
			計画	実績	計画	実績		
	市民一人あたりが1日に排出するごみの量	g	559	557	548	572		
	資源ごみ（プラ）収集運搬日数	日	48	48	48	48		
	資源ごみ（金属）収集運搬日数	日	24	24	24	24		
	リサイクルステーション開催日数	日	48	48	48	48		
2年度 決算 (千円)	予算額	157,309	特定財源内訳及び補正事項					
	決算額	150,714	(そ) ごみ処理手数料 110,824千円					
	財源の 状況	国庫支出金	0	(そ) 古鉄売却代 1,894千円				
		県支出金	0	(そ) 古紙売却代 5,313千円				
		地方債	0	(そ) ガラスびん売却代 35千円				
		その他	123,121	(そ) ペットボトル再商品化還元金 1,755千円				
一般財源	27,593	(そ) ふるさと寄附金 3,300千円						

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	4	2	1	10	1	92,339	89,814	ごみ減量対策費
2	1	4	2	1	10	2	56,044	51,993	容器包装リサイクル事業費
3	1	4	2	1	10	3	2,316	2,306	生ごみ処理機器購入費補助事業費
4	1	4	2	1	1	3	6,610	6,601	会計年度任用職員人件費
5									
6									
7									
振り返り課題認識		「燃やすごみ」の微増の状態が続き、また組成調査の結果から、再資源化可能な容器包装プラスチックや紙類が混入している実態が、改善されていません。							
上記の課題解決のための有効策		繰り返しの啓発が必要です。特に「ごみ処理手数料」の理念と、リサイクルの推進についてを合わせてご理解いただくことにより、ごみ減量・リサイクルを推進していきます。							
次年度に向けての取り組み		ごみ分別アプリの導入促進などにより、普及啓発に取り組んでいきます。							

1 事業概要

		課名	環境課	事業No.	159	
事務事業名		地域環境美化推進事業	会計	一般会計		
			事業区分	政策	実施区分	
			開始	終了	継続	
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称		
	戦略計画					
	分野別計画	○ 飯田市環境基本計画（21' いいだ環境プラン）				
		飯田市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画				
		飯田市分別収集計画				
法令・例規等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律					
	飯田市ポイ捨て等防止及び環境美化を推進する市民条例					
事業目的	対象	一般廃棄物				
	意図	不法投棄とポイ捨て等の防止				

2 事業内容

2年度取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)	
	・環境美化指導員を配置し、毎日巡視活動を行いました。 ・各地区単位で不法投棄パトロール員を委嘱し、巡視活動を行っていただき、活動報告をいただきました。 ・各地区に環境美化推進補助金を交付しました。 ・毎月市職員と環境美化指導員による夜間パトロールを実施し、重点地域の巡視活動と抑止活動を行いました。 ・春のごみゼロ運動は5月31日を中心に、秋のごみゼロは11月8日を中心に各地区ごと実施しました。のべ18,403人御参加いただきましたが、コロナ禍の影響で例年に比べ大きく減少しています。		環境美化活動支援経費					99
			地域環境美化推進事業補助金					1,948
			不法投棄パトロール関連経費					1,886
			不法投棄・ポイ捨て等防止関連経費					916
			会計年度任用職員人件費					6,408
			その他の経費					0
活動指標	指標名 (数値で表せる活動量)	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度		
			計画	実績	計画	実績		
	環境美化活動に取り組んだ市民等の割合	%	30	30.7	30	31.1		
2年度決算(千円)	予算額	14,469	特定財源内訳及び補足事項					
	決算額	11,257	(そ) ごみ処理手数料					
	財源の状況	国庫支出金	0					
		県支出金	0					
		地方債	0					
		その他	4,849					
一般財源	6,408							

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	4	2	1	11	1	4,492	2,047	環境美化推進費
2	1	4	2	1	11	2	3,569	2,802	不法投棄対策事業費
3	1	4	2	2	1	3	6,408	6,408	会計年度任用職員人件費
4									
5									
6									
7									
振り返り課題認識		不法投棄の実態を分析すると、一般市民のモラルに起因する投棄は減少している印象があります。しかし、一方で異常な傾向を持った特定の個人が、反復して犯行を繰り返す事案が見られます。							
上記の課題解決のための有効策		残念ながら、都度機会を捉えて対象者を特定し、繰り返し指導を行います。							
次年度に向けての取り組み		各地区のパトロール員と連携し、引き続き市内で発生する事案を注視していきます。							

1 事業概要

		課名	環境課	事業No.	160
事務事業名		会計	一般会計		
		事業区分	経常	実施区分	継続
		開始		終了	
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称	
	戦略計画				
		飯田市環境基本計画（21' いいだ環境プラン）			
		飯田市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画			
	分野別計画	飯田市分別収集計画			
○ 廃棄物の処理及び清掃に関する法律					
法令・例規等	循環型社会形成推進基本法				
	特定家庭用機器再商品化法				
事業目的	対象	一般廃棄物			
	意図	着実な収集運搬及び適正な処理			

2 事業内容

2年度 取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)			
	・飯田市における一般廃棄物の処理方法について「ごみ処理基本計画」及び「ごみ処理実施計画」を策定し、定めます。 ・両計画に基づくごみの分別区分、排出のルールを市民に周知します。 ・両計画に基づき、ごみの減量に取り組みます。 ・市が指定した方法により排出された廃棄物を、迅速かつ合理的に収集運搬します。 ・収集運搬した廃棄物を、中間処理、再資源化、最終処分等適正に処分します。		ごみ適正排出管理関連経費			2,163				
			ごみ収集運搬業務経費			280,203				
			粗大ごみ戸別収集運搬業務経費			598				
			ごみ・リサイクルカレンダー印刷配布経費			6,038				
			ごみ集積所管理事業経費			5,740				
			蛍光管回収処理事業			2,158				
			その他の経費			0				
活動指標	指標名 (数値で表せる活動量)	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度				
			計画	実績	計画	実績	計画	実績		
	市民一人あたりが1日に排出するごみの量	g	559	557	548	572	540	580	529	593
2年度 決算 (千円)	予算額	299,477	特定財源内訳及び補足事項							
	決算額	296,900	(そ) 一般廃棄物処理業許可手数料 123千円							
	財源の 状況	国庫支出金	0	(そ) 粗大ごみ戸別収集手数料 690千円						
		県支出金	0	(そ) ごみ袋広告掲載料 1,080千円						
		地方債	0	(そ) ごみ袋売却代 84千円						
		その他	1,977							
一般財源	294,923									

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	4	2	2	10	1	299,477	296,900	ごみ収集処理費
2									
3									
4									
5									
6									
7									
振り返り課題認識		令和3年度を始期とする新しいごみ処理基本計画を策定しました。近年のごみの発生状況を踏まえ、ごみ発生量の将来予測を行い、ごみ減量を踏まえた目標値を定めました。また、蛍光管のリサイクル回収と、リチウムイオンバッテリーを内蔵した小型家電を、事故防止を目的に別回収する計画を新たに加えました。							
上記の課題解決のための有効策		・ごみ減量に向けた啓発活動を行います。 ・蛍光管のリサイクル回収と、リチウムイオンバッテリー内蔵小型家電の別回収について、周知を図ります。							
次年度に向けての取り組み		・上記有効策に通じる啓発活動に、可能な範囲で取り組みます。							

1 事業概要

事務事業名		最終処分場管理事業		課名	環境課	事業No.	161	
				会計	一般会計			
				事業区分	経常	実施区分	継続	
根拠		主要区分	主	記号	計画等名称			
		戦略計画						
			分野別計画			飯田市環境基本計画（21' いいだ環境プラン）		
						飯田市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画		
法令・例規等	○	廃棄物の処理及び清掃に関する法律						
		廃棄物の処理及び清掃に関する条例						
事業目的		対象	市内から発生する家庭系一般廃棄物（埋立ごみ）					
		意図	適正な処理、水質の管理					

2 事業内容

2年度取組	取組内容	経費の内容	事業費(千円)
	令和元年10月に関係地区に申し入れた、最終処分場埋立期間延長に関するお願いについては、現在協議中です。 令和元年12月から焼却灰のリサイクルが始まりましたが、埋立状況や浸出水の水質も安定しており、この状態を維持し安定稼働に努めていきます。		埋立ごみの適正処理
水処理施設の維持管理			21,364
旧処分場の維持管理			4,163
会計年度任用職員人件費			11,432
その他の経費			0

活動指標	指標名（数値で表せる活動量）	単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
			計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
			年間受入量（火災ごみ、焼却灰を除く）	t	1,650	1,374	850	985	1,000	1,031
年間埋立量（中間覆土分を除く）	m3	2,500	2,765	2,600	2,631	2,700	1,677	1,600	1,779	
再資源化量	t	50	71	100	51	30	28	45	32	
水質検査回数	回	12	12	12	12	12	12	12	12	

2年度決算(千円)	予算額		58,863	特定財源内訳及び補正事項						
	決算額		53,374	(そ) 最終処分場搬入ごみ処理手数料 3,217千円						
	財源の状況	国庫支出金	0	(そ) ごみ処理手数料 2,479千円						
		県支出金	0	(そ) 太陽光発電収入 86千円						
		地方債	0	(そ) 処分場分別資源売却代 858千円						
		その他	6,642	(そ) 環境課雑入（中電柱・NTT柱 占用料） 2千円						
一般財源		46,732								

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	4	2	2	11	4	45,456	41,942	一般廃棄物最終処分場管理費
2	1	4	2	2	1	3	13,407	11,432	会計年度任用職員人件費
3									
4									
5									
6									
7									

振り返り課題認識	①蛍光管については今まで埋め立て処分をしていましたが、「家庭から排出される水銀使用製品の分別回収ガイドライン 平成27年 環境省」に基づき埋め立てない方向としました。 ②充電電池を含む小型家電類による場内での発火事故は、以前は年間数件であったものが最近では毎月発生しており、全国的にも問題になってきています。
上記の課題解決のための有効策	①令和2年7月から集積所回収の他に店頭回収を始め、令和2年度は3トンの実績でした。 ②別回収システムをつくります。
次年度に向けての取り組み	①集積所での回収をやめ、店頭回収に完全移行します。 ②回収方法の見直しを行い、乾電池やライターと同様「特定ごみ」としての回収を始めます。

1 事業概要

事務事業名		日本型直接支払事業		課名	農業課	事業No.	171
				会計	一般会計		
				事業区分	政策	実施区分	継続
				開始	H27	終了	
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称			
	戦略計画						
	分野別計画	○	地域経済活性化プログラム				
		農業の有する多面的機能の発揮の促進に関する計画					
		飯田市農業振興ビジョン					
法令・例規等		農業の有する多面的機能の発揮に関する法律					
事業目的		対象	生活環境や景観等、農業の持つ多面的機能				
		意図	共同管理による農地の保全、生活環境や景観等の多面的な機能維持				

2 事業内容

2年度取組	取組内容	経費の内容		事業費(千円)
	<p>農地の維持・保全を目的として、地域単位で水路の泥上げや植栽等による農村環境の保全活動、水路・農道などの補修や更新を行う12活動組織に対して、多面的機能支払交付金を交付し活動を支援しました。</p> <p>急傾斜地など農業生産の条件が不利な地域における農業生産活動を継続する17の集落協定に対し、中山間地域等直接支払交付金を交付し活動を支援しました。</p> <p>化学肥料及び化学合成農薬を使用しない有機農業に取り組んでいる1農業者団体に対し、環境保全型農業直接支払交付金を交付し活動を支援しました。</p>	中山間地域農業直接支払事業交付金		28,228
同 推進事務経費			300	
多面的機能支払交付金			16,243	
同 推進事務経費			131	
環境保全型農業直接支払交付金			80	
その他の経費			0	

活動指標	指標名 (数値で表せる活動量)	単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
			計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
			中山間地域等直接支払交付金対象面積	ha	590.5	202.7	205.7	205.8	207.49	206.26
多面的機能支払交付金対象面積	ha	-	375.3	374.83	365.5	376.18	376.03	378.79	363.86	

2年度決算(千円)	予算額		特定財源内訳及び補正事項							
	46,870									
	決算額		(県) 中山間地域農業直接支払事業交付金(法指定 国1/2、県1/4、特認							
	0		国1/3、県1/3) 20,040千円							
	32,562		(県) 中山間地域農業直接支払推進事業交付金(1/2) 150千円							
	0		(県) 多面的機能支払交付金(国1/2、県1/4) 12,182千円							
0		(県) 多面的機能支払推進交付金 130千円								
12,420		(県) 環境保全型農業直接支払交付金(1/2) 60千円								

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	6	1	3	16	1	28,551	28,528	中山間地域等直接支払事業費
2	1	6	1	3	34	1	18,202	16,374	多面的機能支払交付金事業費
3	1	6	1	4	25	1	117	80	人と環境にやさしい農業推進事業費
4									
5									
6									
7									
振り返り課題認識		多面的機能支払制度・中山間地域等直接支払制度により農地が維持・保全されましたが、活動継続への不安要因のひとつである作業量の多さに対しては、自動草刈機に関する情報収集をしたものの、具体的な対策の実現には至りませんでした。環境保全型農業直接支払制度は、取組者及び取組面積の増加がみられましたが、制度の認知度としてはまだ低い水準にあります。							
上記の課題解決のための有効策		多面的機能支払制度・中山間地域等直接支払制度は、引き続き制度の趣旨への理解を求めていくとともに、集落協定の事務負担を軽減するための方策を継続して研究していく必要があります。環境保全型農業直接支払制度は、自然環境の保全に資する新たな取組の増加を目指し、生産団体等への広報活動を引き続き行っていく必要があります。							
次年度に向けての取り組み		地域での話し合いが進展するよう、制度説明会や農業者等との意見交換会の実施等により、新たに取り組む意欲ある農業者や地域による新規組織の設立を支援します。環境保全型農業直接支払制度は、制度の説明会の実施などを通じて、生産団体等への広報活動を行っていきます。							

1 事業概要

		課名	農業課	事業No.	174
事務事業名		会計	一般会計		
		事業区分	政策	実施区分	継続
		開始	H29	終了	
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称	
	戦略計画				
	分野別計画			地域経済活性化プログラム	
		○		飯田市農業振興ビジョン	
法令・例規等					
事業目的	対象	農村女性、保育所園児、小中学校児童・生徒、中山間地域の農家、体験農園施設			
	意図	地域農業の課題解決、遊休農地の活用、食農教育による啓発、都市住民との交流促進			

2 事業内容

2年度 取組	取組内容			経費の内容				事業費(千円)	
	農村女性2団体では、会員相互の情報交換を行いながら健康教室や伝統食実践講座等の食育活動を実施しました。 未来の担い手となる子どもたちを対象とした食育推進事業のほか、農業を核とした地域活性化の取組として、棚田の保全・活用による地域振興を支援しました。 下栗地域の体験農園施設では、今後の有効活用を見据え屋根葺き替え工事を行いました。新型コロナウイルス感染症対策の関係もあり受入はできませんでしたが、近隣地域の応援ボランティアが加わった遊休農地の耕作支援活動を支援しました。			中山間地域振興プロジェクト事業			300		
				南信州グリーン・ツーリズム特区事業			0		
				農村女性団体支援事業			8		
				上村農業施設管理費(管理経費)			590		
				上村農業施設管理費(屋根葺き替え工事)			5,775		
				よこね田んぼ緊急対策事業			2,500		
				その他の経費			0		
活動指標	指標名(数値で表せる活動量)	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度		令和2年度		
			計画	実績	計画	実績	計画	実績	
	市民農園利用区画数	区画					-	216	
	下栗応援団による遊休農地耕作支援面積	a	50	50	50	50	50	50	
	体験農園施設通年契約者数	人	3	2	3	2	3	0	
2年度 決算 (千円)	予算額	10,923	特定財源内訳及び補正事項						
	決算額	9,173	(県)市町村合併特例交付金 5,500千円						
	財源の 状況	国庫支出金	0	(県)農村活力創出交付金(定額) 80千円					
		県支出金	8,080	(県)棚田地域振興緊急対策交付金 10/10 2,500千円					
		地方債	0	(そ)上村体験農園施設雑入					
		その他	5	1→2 繰越明許費 2,500千円					
一般財源	1,088								

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	6	1	3	32	1	300	300	中山間地域振興プロジェクト事業費
2	1	6	1	3	33	1	16	8	元気な農村づくり推進事業費
3	1	6	1	10	10	3	8,107	6,365	上村農業施設管理費
4	1	6	1	3	32	2	2,500	2,500	棚田地域振興事業費
5									
6									
7									
振り返り課題認識		グリーンツーリズムにこれまで取り組んできましたが、取組を支えてきた農業者は年々減少してきました。農村の魅力を守り、それを活かした交流を継続して地域活性化につなげるためにも、多種多様な担い手が必要です。市民全体への農ある暮らしへの理解を進め、少しでも農業に関わりを持ってもらうことや関心を持ってもらう必要があります。							
上記の課題解決のための有効策		農業とかかわりのなかった市民が農業に取り組むことや農業の多様性への理解を深める取組や次代を担う子どもたちの食育事業を推進することが必要です。							
次年度に向けての取り組み		市民農園や家庭菜園など農業を暮らしに取り入れることへの普及を行います。お試し住宅や体験農園施設の利用拡大を図ります。グリーンツーリズムに取り組む地域や団体を支援していきます。							

1 事業概要

事務事業名		堆肥センター運営事業		課名	農業課	事業No.	175
				会計	一般会計		
				事業区分	政策	実施区分	継続
				開始		終了	
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称			
	戦略計画						
	分野別計画	○ 地域経済活性化プログラム					
		飯田市農業振興ビジョン					
法令・例規等							
事業目的	対象	家畜排せつ物、食べ物の残さ（生ごみ）、きのこ廃培地					
	意図	リサイクルによる良質な堆肥の生産					

2 事業内容

2年度 取組	取組内容			経費の内容				事業費(千円)		
	(有) いいだ有機に堆肥センターの管理運営業務を委託して、家畜排せつ物・生ごみ・きのこ廃培地を原料にした堆肥の製造・販売を行いました。また、ユニー・JAみなみ信州と連携したりサイクルループ事業に取り組み、JAねぎ部会へ約119トンを販売しました。 施設管理においては、長期運営計画に基づいて(有) いいだ有機が堆肥製造に必要な機械等の修繕を行いました。			借地料					135	
				保険料					24	
				その他の経費						
活動指標	指標名 (数値で表せる活動量)	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度		令和2年度			
			計画	実績	計画	実績	計画	実績		
	堆肥生産量	t	2,000	2,057	2,000	1,908	2,000	1,803	1,900	1,702
	家庭・公共施設等生ごみ搬入量	t	150	722	35	641	35	706	650	670
	堆肥販売量	t	-	-	-	874	-	801	900	710
2年度 決算 (千円)	予算額	160	特定財源内訳及び補足事項							
	決算額	159								
	財源の 状況	国庫支出金	0							
		県支出金	0							
		地方債	0							
		その他	0							
一般財源	159									

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	6	1	4	25	4	160	159	堆肥センター運営事業費
2									
3									
4									
5									
6									
7									
振り返り課題認識	堆肥製造・販売においては、農家の高齢化等により生産量が減少傾向にあるため、堆肥原料の確保に努めるとともに、販売先の確保に向けて(有) いいだ有機と協議・検討していく必要があります。								
上記の課題解決のための有効策	安定した堆肥製造を行うために、引き続き、市と(有) いいだ有機との役割分担により堆肥センター施設等を適切に維持管理する必要があります。堆肥原料を確保し、安定した堆肥製造を行うとともに、(有) いいだ有機や出資する生産団体と連携した販売促進を行い、地域内での利用促進に取り組む必要があります。								
次年度に向けての取り組み	(有) いいだ有機に委託を行い、安定した良質な堆肥を製造、供給できるよう堆肥原料を確保し、堆肥センターの管理運営を行います。施設の日常的な点検に努めるとともに、長期運営計画に基づき必要な修繕等を実施していきます。生産団体と連携し、製造した堆肥の地域内における利用促進に取り組んでいきます。								

1 事業概要

課名		林務課	事業No.	186
会計		一般会計		
事業区分		政策	実施区分	継続
開始			終了	
事務事業名		林業振興事業		
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称
	戦略計画			
	分野別計画			地域経済活性化プログラム
		○		飯田市森林整備計画 21'いいだ環境プラン
法令・例規等				
事業目的	対象	林業関係者、従事者、林業関係団体財産区、林業施設		
	意図	林業の活性化、財産区の運営が円滑に処理される		

2 事業内容

2年度取組	取組内容	経費の内容				事業費(千円)				
		森林認証材を含めた市産木材の需要拡大のためのPR活動を予定したが、コロナの影響で実施できませんでした。	各種団体負担金				2,421			
		事務所経費等				2,548				
		森林管理認証木材の需要拡大の経費				52				
		会計年度任用職員				1,766				
		木工センターとちの木維持管理費				518				
		林産物加工施設維持管理費				651				
		森林整備・施設管理費				593				
		その他の経費				0				
活動指標	指標名 (数値で表せる活動量)	単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
			計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
	負担金支出団体数	団体	9	9	9	9	9	9	9	9
	施設管理に関する協議	回	5	5	5	5	5	5	5	3
	森林認証材のPR活動	回数		1	3	3	3	2	4	1
2年度決算(千円)	予算額		9,478		特定財源内訳及び補足事項					
	決算額		8,549		(そ) 財産区事務繰入金					
	財源の状況	国庫支出金	0							
		県支出金	0							
		地方債	0							
		その他	2,602							
一般財源		5,947								

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)	
1	1	6	2	1	10	1	2,899	2,421	林業総務費	
2	1	6	2	2	10	1	3,331	3,141	林業振興一般経費	
3	1	6	2	2	10	3	200	52	森林認証システム推進事業費	
4	1	6	2	2	30	1	521	518	上村木材工芸品加工販売施設費	
5	1	6	2	2	31	1	759	651	林産物加工施設費	
6	1	6	2	2	1	3	1,768	1,766	会計年度任用職員人件費	
7										
振り返り課題認識		森林認証材を含め、飯田市産材の知名度が低い状況です。コロナ禍において対面におけるPR活動が制限される状況になっています。								
上記の課題解決のための有効策		森林認証材を含め、飯田市産材の地域内利用を推進します。								
次年度に向けての取り組み		森林認証材として、地域での知名度も低いことや消費地である名古屋や東京などでの知名度も低いことから、地元での認証材への理解と東京等での飯田市産の森林認証材の普及を引き続き取り組みます。								

1 事業概要

		課名	林務課	事業No.	187
事務事業名		会計	一般会計		
		事業区分	政策	実施区分	継続
		開始	H16	終了	
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称	
	戦略計画				
				地域経済活性化プログラム	
	分野別計画	○	飯田市森林整備計画		
		21'いいだ環境プラン			
法令・例規等		森林法			
事業目的	対象	民有林及び市有林森林所有者及び市民			
	意図	多面的機能を発揮できる森林の育成と健全な森林としての保全管理森林ボランティア等の新たな担い手の確保			

2 事業内容

2年度取組	取組内容	経費の内容	事業費(千円)	
	<p>森林の持つ多面的機能（水源の涵養、土砂流出の防備、保健休養等の役割）を発揮させるため、森林整備を行った市内の民有林（国有林を除く森林）を対象に、補助金を交付しました。</p> <p>豊川水源基金による整備や分収造林契約に基づく整備を行いました。</p> <p>いいだ森林学校の各種講座の開催により、森林関係者等の技術力の向上や、林業体験や竹木を使ったものづくり体験を通じて森林に興味を持ってもらおう機会にすることができました。</p>	森林造成事業に対する補助		1,458
間伐促進対策事業に対する補助			9,034	
みんなで支える里山整備事業に対する補助			739	
里山整備、地元産材普及併発、森林学校の運営			6,886	
立木伐採			1,094	
豊川水源林の整備			1,637	
分収林の整備			9,297	
林地台帳保守・森林所有者情報更新			902	
その他の経費				0

活動指標	指標名（数値で表せる活動量）	単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
			計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
			間伐面積	ha	366	404.29	320	488.15	320	292.27
搬出間伐面積	ha	165	87.89	90	78.98	90	55.23	90	41	
間伐を除く森林整備面積	ha	80	61.33	80	45.23	104	35.81	90	28	
豊川水源基金助成金の森林整備面積	ha	200	500	220	212	0	0	5	21	
分収造林契約地の森林整備面積	ha	5	5	5	5	5	5	22	45	

2年度決算(千円)	予算額		38,140	特定財源内訳及び補足事項						
	決算額		31,047	(県) 森林づくり推進支援金 3,580千円						
	財源の状況	国庫支出金	0	(そ) 水源林対策事業助成金（豊川水源基金） 1,020千円						
		県支出金	7,535	(そ) 分収造林受託事業収入 9,297千円						
		地方債	0	(県) 河畔林整備事業補助金 2,970千円						
		その他	10,317	(県) みんなで支える里山整備事業交付金 985千円						
一般財源		13,195								

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	6	2	2	11	1	15,204	12,324	森林造成事業費
2	1	6	2	2	11	6	7,006	6,887	森林づくり推進支援事業費
3	1	6	2	2	28	3	1,637	1,637	水源林対策事業費
4	1	6	2	2	29	3	13,248	9,297	分収造林事業費
5	1	6	2	2	12	2	1,045	902	集約化支援対策事業費
6									
7									

振り返り課題認識	林業労働者数の減少や、森林所有者の意欲低下による山林放棄等が課題となっています。森林に対する市民の関心を高め、森林整備から森林の活用に推進していく必要があります。
上記の課題解決のための有効策	森林整備のための森林経営計画促進のため、森林所有者情報の整備を進めます。
次年度に向けての取り組み	引き続き森林整備を行うための補助金を交付します。市有林を健全な森林として保全していくため、豊川水源基金による整備を行います。森林関係者等の技術力の向上や森林ボランティアの養成など、森林づくりを進める担い手を育成するため、いいだ森林学校の講座実施や、その他育成の仕組みを検討してまいります。

1 事業概要

課名		林務課	事業No.	188
会計		一般会計		
事業区分		政策	実施区分	継続
開始			終了	
事務事業名		森林病虫害対策事業		
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称
	戦略計画			
	分野別計画	○		飯田市森林整備計画 21'いいだ環境プラン 森林病虫害防除法
法令・例規等				
事業目的	対象	松（松林）		
	意図	松林を保全する		

2 事業内容

2年度取組	取組内容	経費の内容	事業費(千円)
		天龍峡等の重点地域、公園等を中心とした保全すべき松林を対象に、伐採駆除(燻蒸)・地上薬剤散布・薬剤樹幹注入等を行い、松くい虫被害の防止を図りました。	被害木の伐倒駆除
地上薬剤の散布業務			4,235
樹幹注入剤利用による松林の保全			1,617
その他の経費			0

活動指標	指標名 (数値で表せる活動量)	単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
			計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
			伐倒駆除くん蒸・破砕	m3	238	728	250	734	250	498.23
地上薬剤散布	ha	20	20	20	20	20	18.94	18.94	18.94	
樹幹注入	本	130	75	130	103	130	68	130	76	

2年度決算(千円)	予算額		24,891	特定財源内訳及び補足事項						
	決算額		24,814	(県)松林健全化推進事業補助金(伐倒 国1/2、県1/2、県1/4、衛生伐 県7/10、地上散布 国1/2 県1/4、樹幹注入 国1/2 県1/4)						
	財源の状況	国庫支出金	0	(そ)松くい虫防除対策事業分担金 57千円						
		県支出金	11,146	(そ)下伊那山林協会工事助成金 149千円						
		地方債	0							
		その他	206							
一般財源		13,462								

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	6	2	2	14	1	24,891	24,814	森林病虫害対策事業費
2									
3									
4									
5									
6									
7									
振り返り課題認識		松くい虫による松枯れ被害は依然として沈静化せず、むしろ今まで被害の無かった標高の高い地域へ拡大しつつあります。全量駆除による被害対策は限界にきており、守るべき松林について重点化を図り、集中的に被害拡大防止対策を図る必要があります。							
上記の課題解決のための有効策		守るべき松林に対し重点的に事業を導入し、被害拡大を防止します。							
次年度に向けての取り組み		効果的に成果が発揮できるよう重点化を図り事業を進めていきます。							

1 事業概要

事務事業名 森林鳥獣被害対策事業		課名	林務課	事業No.	189	
		会計	一般会計			
		事業区分	政策	実施区分	継続	
		開始	S55	終了		
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称		
	戦略計画					
	分野別計画	○	飯田市森林整備計画			
			21'いいだ環境プラン			
法令・例規等		鳥獣保護法				
		鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律				
事業目的	対象	有害鳥獣				
	意図	農林産物被害を防止し、良好な森林形成を図る				

2 事業内容

2年度取組	取組内容	経費の内容	事業費(千円)
	有害鳥獣保護活動の実施により、鳥獣による農作物被害の減少に貢献することができました。 人工林におけるカモシカによる食害被害拡大を防止するため、県が定めた特定鳥獣保護管理計画（カモシカ）の捕獲計画に基づき、個体数の調整を実施しました。 錯誤捕獲した野生鳥獣（熊）の放獣を実施しました。		鳥獣被害対策実施隊員への報酬
		カモシカの捕獲	348
		錯誤捕獲した野生鳥獣の放獣	2,552
		C S F 拡散防止対策	278
		その他の経費	0

活動指標	指標名 (数値で表せる活動量)	単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
			計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
			飯田市鳥獣被害対策実施隊員数	人	223	228	228	228	227	228
カモシカ個体調整頭数	頭	5	5	5	5	5	5	5	5	
ユネスコエコパークエリア内のシカ駆除数	頭	850	1,027	850	983	850	1,011	850	1,186	

2年度決算(千円)	予算額	6,517	特定財源内訳及び補正事項								
	決算額	4,108	(県) 野生鳥獣総合管理対策事業補助金 (1/2)								
	財源の状況	国庫支出金	0	(そ) 鳥獣飼養登録手数料 68千円							
		県支出金	1,276	(そ) 林務課雑入 20千円							
		地方債	0								
		その他	88								
一般財源	2,744										

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	6	2	2	15	1	6,517	4,108	鳥獣被害対策事業費
2									
3									
4									
5									
6									
7									

振り返り課題認識	飯田市鳥獣被害対策実施隊により捕獲の推進を図っているため人員の確保はできていますが、銃器による捕獲許可者の減少と高齢化が進んでいます。
上記の課題解決のための有効策	飯田市連合猟友会および飯伊連合猟友会の若手会員により結成されている南信州ハンターズの活動を支援し、若年捕獲者の技術向上と新規狩猟許可者の確保を行う必要があります。
次年度に向けての取り組み	有害鳥獣保護活動を効率的かつ効果的に行うため、鳥獣被害対策実施隊員の活動を支援します。また、新規狩猟者を確保するため、飯田市連合猟友会および南信州ハンターズの活動を支援します。C S F 拡散防止に努めます。

令和2年度事務事業実績評価表

1 事業概要

課名		林務課	事業No.	190
会計		一般会計		
事業区分		経常	実施区分	継続
開始			終了	
事務事業名		林道管理事業		
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称
	戦略計画			
	分野別計画			地域経済活性化プログラム
		○		飯田市森林整備計画
法令・例規等			森林・林業基本法	
事業目的	対象	林道		
	意図	機能の維持や通行の安全確保を図る		

2 事業内容

2年度取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)				
	林道(延長162km)の維持補修工事、除草、除雪業務、保守点検など、林道機能の維持や通行の安全管理を行うことで、森林整備の推進や木材搬出経費の削減を図りました。		林道の路面整備				13,025				
			林道沿線の環境整備業務				2,327				
			林道補修用原材料費				1,583				
			林道除雪作業業務				1,514				
			林道台帳作成業務				1,153				
その他の経費				0							
活動指標	指標名(数値で表せる活動量)	単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		
			計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	
	林道管理業務	路線	48	48	48	49	49	49	49	49	
2年度決算(千円)	予算額		20,373		特定財源内訳及び補足事項						
	決算額		19,602								
	財源の状況	国庫支出金		0							
		県支出金		0							
		地方債		0							
		その他		0							
一般財源		19,602									

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	6	2	2	18	1	20,373	19,602	林道管理事業費
2									
3									
4									
5									
6									
7									

振り返り課題認識	降雨による崩落や落石、倒木等が多く、林道通行者の安全確保が課題です。
上記の課題解決のための有効策	林道利用者と協力し、きめ細やかな管理業務を実施します。
次年度に向けての取り組み	林道の維持補修工事、除草、除雪業務、保守点検など林道機能の維持や通行の安全管理を行います。

1 事業概要

事務事業名		林道整備事業		課名	林務課	事業No.	191
				会計	一般会計		
				事業区分	政策	実施区分	継続
				開始		終了	
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称			
	戦略計画						
	分野別計画			地域経済活性化プログラム			
		○		飯田市森林整備計画			
法令・例規等			地域再生計画				
			森林・林業基本法				
事業目的		対象	未舗装、未改良部分の林道				
		意図	開設、改良、舗装工事を実施し、森林整備の作業効率や輸送力及び生産性を向上させる				

2 事業内容

2年度取組	取組内容	経費の内容	事業費(千円)
		森林整備や保安全管理上、必要不可欠な林道の開設、舗装、改良工事を行い、木材運搬の効率化や通行の安全確保を図りました。また、老朽化した橋梁の補修工事を実施し、長寿命化と将来の架け替えコストの縮減を図りました。	林道の開設(南信濃高平線)
林道の舗装(千遠線)			35,831
林道の改良(国庫補助事業)			251,154
林道の改良(市単独事業)			5,294
その他の経費			0

活動指標	指標名 (数値で表せる活動量)	単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
			計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
			林道開設延長	m	200	100	200	228	260	299
林道舗装延長	m	1,000	646	1,200	918	1,000	1,083	950	864	
林道改良延長	m	700	772	540	612	559	559	430	475	
林道橋梁改良・保全整備箇所	橋	9	7	8	8	7	7	2	2	

2年度決算(千円)	予算額		400,885	特定財源内訳及び補正事項						
	決算額		317,317	(県) 林道開設事業補助金(国1/2、県1/100) 10,098千円						
	財源の状況	国庫支出金	0	(県) 林道舗装事業補助金(国1/2、県1/100) 16,726千円						
		県支出金	150,166	(県) 林道改良事業補助金(国1/2、県1/100) 123,342千円						
		地方債	122,400	(地) 過疎対策(充当率100%) 57,200千円 (地) 公共事業等(充当率90%) 65,200千円						
		その他	2,021	(そ) 繰越金						
一般財源		42,730	1→2 繰越明許費 69,551千円 2→3 繰越明許費 77,309千円							

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	6	2	2	19	1	30,651	25,038	林道開設事業費
2	1	6	2	2	20	1	49,766	35,831	林道舗装事業費
3	1	6	2	2	21	1	315,141	251,154	林道改良事業費(補助)
4	1	6	2	2	22	1	5,327	5,294	林道改良事業費(単独)
5									
6									
7									
振り返り課題認識		未改良区間が多数あるため、崩落の危険性の高い箇所の事業を効率的に進める必要があります。降雨による崩落や落石、倒木等が多く、林道通行者の安全確保が課題であるため、森林整備や木材搬出が多い路線を対象に重点化を図り経費を縮減します。							
上記の課題解決のための有効策		森林整備の推進や生活道路としての路線を重点化し、飯田市森林整備計画や橋梁保全整備計画に基づき、計画的に事業を実施する必要があります。							
次年度に向けての取り組み		未改良区間が多くあるため、優先順位を精査し、重点化を図りながら事業を進めます。							

1 事業概要

課名		林務課	事業No.	192
会計		一般会計		
事業区分		政策	実施区分	継続
開始			終了	
事務事業名		治山関連事業		
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称
	戦略計画			
	分野別計画			地域経済活性化プログラム
		○		飯田市森林整備計画
法令・例規等				
事業目的	対象	保安林・治山事業区域内の民有林		
	意図	森林荒廃地の早期回復により保全と再生を図る		

2 事業内容

2年度取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)				
	飯田市の重要な水源地である松川入地区において、国が進めている民有林直轄治山事業を円滑に行うため、関連改良工事を実施しました。		国直轄治山事業関連の林道松川入線整備				1,342				
			その他の経費				0				
活動指標	指標名 (数値で表せる活動量)	単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		
			計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	
	治山関連工事	箇所	2	1	2	2	2	0	2	0	
	松川入線改良施工延長	m	50	50	50	50	50	13	50	60	
2年度決算(千円)	予算額	1,342	特定財源内訳及び補足事項								
	決算額	1,342									
	財源の状況	国庫支出金	0								
		県支出金	0								
		地方債	0								
		その他	0								
一般財源	1,342										

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	6	2	2	22	2	0	0	治山関連事業費
2	1	6	2	2	25	1	1,342	1,342	直轄治山環境整備事業費
3									
4									
5									
6									
7									
振り返り課題認識	近年、豪雨や台風が多く、土砂災害発生の危険性が年々高まっており、一層の事業推進を図る必要があります。								
上記の課題解決のための有効策	優先順位の高い箇所から工法を検討し、効率化を図ります。								
次年度に向けての取り組み	保全対象を明確にし、優先順位をつけ実施していきます。								

1 事業概要

課名		林務課	事業No.	193
会計		一般会計		
事業区分		政策	実施区分	継続
開始		H19	終了	
事務事業名		森林資源活用推進事業		
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称
	戦略計画			
	分野別計画	○	地域経済活性化プログラム	
			21'いいだ環境プラン	
	法令・例規等			
事業目的	対象	住宅建築主、住宅建設業者、住宅設計事務所		
	意図	間伐材を含めた飯田市産材の利用により、森林整備や林業振興を図る		

2 事業内容

2年度取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)				
	飯田市産材を一定の割合以上使用して、住宅を新築及びリフォームした建築主、施工した市内の工務店・設計事務所に対する補助金交付を行うことにより、木材自給率を高めるとともに、地域材利用の意識高揚を図りました。		住宅の新築・リフォームに対する補助				2,446				
			その他の経費				0				
活動指標	指標名 (数値で表せる活動量)	単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		
			計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	
	飯田市産材を使って建てた住宅戸数	戸	12	10	12	9	12	12	12	12	
2年度決算(千円)	予算額	3,497	特定財源内訳及び補足事項								
	決算額	2,446									
	財源の状況	国庫支出金	0								
		県支出金	0								
		地方債	0								
		その他	0								
一般財源	2,446										

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	6	2	2	26	6	3,497	2,446	飯田の木で家を建てるプロジェクト事業費
2									
3									
4									
5									
6									
7									
振り返り課題認識		住宅を建てるには多額の費用がかかるため、使用する材は安価な外材や、流通量の多い他地域材の利用が多いのが現状であり、いかに地元産材の利用を進めるかが課題です。さらなる利用を進めるためには、地域産の木材利用や森林に対する理解を進める必要があります。これまでの活動の検証を行い、地元産材の地域循環につなげる展開が必要です。							
上記の課題解決のための有効策		木材利用や森林に対する理解を進めるため、地域ぐるみによる木づかい運動を展開し、飯田市産材利用の拡大を図る必要があります。							
次年度に向けての取り組み		地元産材の利用を進めるため、飯田市産材に加え、南信州産材（飯田市産混合）を使用して住宅を新築及びリフォームした場合にも補助金を交付することで、木材自給率を高め、まちの木質化につなげます。また木の良さを体感してもらうための機会を創設することで、木材利用の拡大を図ります。							

1 事業概要

		課名	林務課	事業No.	194
事務事業名		森づくり市民活動支援事業	会計	一般会計	
			事業区分	経常	実施区分 継続
			開始		終了
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称	
	戦略計画	○	10	豊かな自然と調和し、低炭素なくらしをおくる	
	分野別計画		地域経済活性化プログラム		
		飯田市森林整備計画			
		21'いいだ環境プラン			
法令・例規等					
事業目的	対象	市民・企業			
	意図	森林体験や普及活動を通じた森林づくりへの市民参加を増やす			

2 事業内容

2年度取組	取組内容			経費の内容				事業費(千円)				
	市内公共施設等に緑化木を配布し地域住民が協働して植栽を行うことにより、地域の景観形成に寄与することができました。 通学路などの放置竹林に対してコロナ緊急対策も併せて、竹林整備を実施しました。			野底山森林公園さくら祭りの負担金				222				
				里山整備の活動支援				1,032				
				公共施設への緑化木配布				1,259				
				緑の少年団の活動支援				300				
				会計年度任用職員(竹林整備)				3,447				
その他の経費				0								
活動指標	指標名 (数値で表せる活動量)		単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		
				計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	
	企業・団体等と地域との交流		回	3	3	3	2	2	2	2	0	
	イベントへの市民の参加者数		人	5,200	4,031	5,200	3,588	5,200	3,080	5,200	0	
	里山整備活動講習会 /H30から		地区			5	2	5	2	5	2	
	市内の公共施設に配布した苗木		本							1,300	1,183	
	緑の少年団活動団体数		団体							6	6	
2年度決算(千円)	予算額		7,384	特定財源内訳及び補足事項								
	決算額		6,260	(そ) 緑の募金事務配分金								
	財源の状況	国庫支出金		4,303	(国) 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金							
		県支出金		0								
		地方債		0								
		その他		1,259								
一般財源		698										

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)	
1	1	6	2	2	27	5	747	222	森林ふれあい事業費	
2	1	6	2	2	27	2	1,540	1,032	里山整備活動支援事業費	
3	1	6	2	2	13	1	1,600	1,559	森林環境保全推進事業費	
4	1	6	2	2	1	3	3,447	3,447	会計年度任用職員人件費	
5	1	6	2	2	26	9	50	0	森林の里親制度推進事業費	
6										
7										
振り返り課題認識		安全に里山整備を実施してもらうための活動講習会を5地区として予定したが、2地区の開催にとどまりました。								
上記の課題解決のための有効策		各自治振興センターを通じての団体への周知以外にも、財産区との会議における周知や、広報いいだによる広報も検討します。								
次年度に向けての取り組み		公園、集会所等公共施設に緑の募金還元による緑化木の頒布により、自然や樹木に興味を持つ機会づくりとし、また景観形成を進めます。里山整備活動支援により地域の森林整備活動の安全向上に努めます。								

1 事業概要

		課名	林務課	事業No.	195
事務事業名		会計	一般会計		
		事業区分	政策	実施区分	新規
		開始	R2	終了	
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称	
	戦略計画				
	分野別計画			飯田市森林整備計画	
				地域経済活性化プログラム	
法令・例規等				森林法	
	○			森林環境税及び森林環境譲与税に関する法律	
				森林経営管理法	
事業目的	対象	経営や管理の行われていない森林			
	意図	経営や管理の行われていない森林について、適切な経営や管理の確保を図る			

2 事業内容

2年度取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)				
	森林経営管理制度による森林所有者の意識調査を、計画的な森林整備や木材生産に結び付けるための準備として、県が保有する森林空間データを活用し森林の状況把握を可能とする森林整備プランニングマップを作製しました。 同制度森林所有者の意識調査から森林経営計画が滞りなく進められるよう、森林の土地に関する地番図の作成を進めました。		委託費				13,978				
				その他の経費				0			
活動指標	指標名 (数値で表せる活動量)	単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		
			計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	
	民有林対象面積	ヘクタール							8,658	8,658	
2年度決算(千円)	予算額	19,870	特定財源内訳及び補足事項								
	決算額	13,978	(そ) 森林経営管理基金繰入金								
	財源の状況	国庫支出金	0								
		県支出金	0								
		地方債	0								
		その他	13,977								
一般財源	1										

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	6	2	2	32	1	19,870	13,978	森林経営管理事業費
2									
3									
4									
5									
6									
7									
振り返り課題認識	森林の土地に関する地番図の作成を進める必要があります。 木材生産を地域循環に繋げるため、森林所有者意識調査の優先順位の策定を進める必要があります。								
上記の課題解決のための有効策	森林整備プランニングマップの利用により、事業実施の優先箇所策定を進めます。 森林の土地に関する地番図の作成を引き続き実施します。								
次年度に向けての取り組み	森林の土地に関する地番図の作成業務及び森林所有者意識調査の優先順位の策定を進めます。 森林環境(譲与)税の用途である、森林整備及びその促進に関する取組を実施してまいります。								

1 事業概要

課名		林務課	事業No.	196
会計		一般会計		
事業区分		政策	実施区分	継続
開始			終了	
事務事業名		森林公園維持管理事業		
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称
	戦略計画			
	分野別計画	○	地域経済活性化プログラム	
			飯田市森林整備計画	
			21'いいだ環境プラン	
法令・例規等				
事業目的	対象	野底山森林公園		
	意図	適切に維持管理を行い、利用の拡大を図る		

2 事業内容

2年度 取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)
	コロナ禍により、大人数を集めるイベントは自粛せざるを得ませんでした。野底山の自然を活かした各種事業は実施されました。管理運営委員会への参加により情報共有を行い、施設運営に協働して取り組みました。		施設管理業務の委託料			9,803	
			施設改修に係る工事費			330	
			施設に関する修繕料等			127	
			建物の火災保険料			78	
			AED借り上げ料			71	
			臨時休業補償			259	
			その他の経費			0	
活動指標	指標名 (数値で表せる活動量)	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
			計画	実績	計画	実績	
	年間延べ利用者数	人	41,000	50,444	45,000	53,130	
2年度 決算 (千円)	予算額	10,740	特定財源内訳及び補正事項				
	決算額	10,668	(そ) 太陽光発電収入 117千円				
	財源の 状況	国庫支出金	0	(そ) 野底山森林公園管理棟貸賃借料 119千円			
		県支出金	0				
		地方債	0				
		その他	236				
一般財源	10,432						

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	6	2	3	10	1	10,740	10,668	森林公園一般経費
2									
3									
4									
5									
6									
7									
振り返り課題認識		キャンプ場の利用者から、施設の老朽化について提案があり、区画の大きさやかまどなど対応が求められています。利用者の増加を求める声と静かな公園を求める声があり、方向性の検討が必要な時期となっています。							
上記の課題解決のための有効策		キャンプ区画の大きさの見直しや土の入替えなど改修を行います。公園の目指す姿を検討してまいります。							
次年度に向けての取り組み		指定管理の最終年度となるので、公園の目指す姿、管理の方針について、公園の指定管理者である地元上郷のまちづくり委員会と検討してまいります。安全安心に利用できるように施設の改修を行ってまいります。							

1 事業概要

事務事業名		起業家育成支援事業			課名	工業課	事業No.	203
					会計	一般会計		
					事業区分	政策	実施区分	継続
					開始	H23	終了	
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称				
	戦略計画	○	1	若者が帰ってこられる産業をつくる				
			2	飯田市への人の流れをつくる				
	分野別計画	地域経済活性化プログラム						
法令・例規等	飯田市中心小企業支援補助金交付要綱							
	飯田市起業家発掘事業実施要綱							
事業目的		対象	飯田市の区域で起業・新事業に挑戦しようとする者					
		意図	起業・新事業展開の実現					

2 事業内容

2年度取組	取組内容			経費の内容				事業費(千円)	
	起業家ビジネスプランコンペは、コロナ禍での開催になり、コロナによる経済変動の影響を受けながらも、創意工夫をして新しい事業に取り組んでいる起業家や事業者を支援することを目的に要項を見直し実施しました。過去最高の18件の応募があり、3次にわたる審査の結果9件の入賞を決定し、起業奨励金を交付しました。 飯田市新事業創出支援協議会I-Portでは、コロナの影響もあり新たな支援決定はありませんでした。 I-Port専用メディアである「ハジメマシテ、飯田」はフォロワー数が約2,300人となり、移住定住・起業に結びつくよう飯田の魅力や飯田の暮らしなど情報を発信しました。			起業家発掘事業の実施				5,060	
				新事業創出支援協議会I-Portの運営				4,537	
				起業関連中小企業振興資金借入者への利子補給				943	
				専門家派遣事業等				160	
				その他の経費				0	
活動指標	指標名 (数値で表せる活動量)	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度			
			計画	実績	計画	実績	計画	実績	
	起業講座の開催回数	回	6	6	6	6	6	6	
	起業家発掘事業の開催回数	回	1	1	1	1	1	1	
	I-Portの連携支援決定事業者数	事業者		3	7	4	4	0	
	個別相談件数	件					10	10	
2年度決算(千円)	予算額	12,213	特定財源内訳及び補足事項						
	決算額	10,700	(そ)ふるさと寄附金						
	財源の状況	国庫支出金	0						
		県支出金	0						
		地方債	0						
		その他	1,000						
一般財源	9,700								

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	7	1	3	10	3	12,013	10,540	起業家育成支援事業費
2	1	7	1	3	10	4	200	160	中小企業経営安定支援事業費
3									
4									
5									
6									
7									
振り返り課題認識		I-Portや創業については、コロナの影響により業種を問わず従来のビジネスモデルが通じなくなってきており新しいビジネスモデルを検討する必要に迫られています。「ハジメマシテ、飯田」についてはSNS広告によりフォロワー数は増加していますが、起業や新事業を行う事業者への応援や、これから新たに挑戦しようとする方へのきっかけとなるようなサイトづくりに取り組む必要があります。工業課への事業移管に伴い、エス・バードと一体的な支援が求められています。							
上記の課題解決のための有効策		起業家ビジネスプランコンペは、コロナが終息しない状況下では今年度と同じ方式で行うことが効果的であると考えます。「ハジメマシテ、飯田」は、事業者のユニークな事業内容や飯田での魅力ある暮らしぶり等の記事充実を図り、地域内外へ情報を発信していきます。エス・バードの機能にI-Portや創業の相談業務も加え一体的な支援体制を構築します。							
次年度に向けての取り組み		I-Portや創業支援は、起業家ビジネスプランコンペ事業や相談体制について、南信州・飯田産業センターや商工会議所と連携し取り組んでいきます。「ハジメマシテ、飯田」は、専門的な知識を持つI-portメディアセクションと連携しエス・バードの情報発信も含めて戦略的に取り組んでいきます。							

1 事業概要

		課名	産業振興課	事業No.	204
		会計	一般会計		
		事業区分	政策	実施区分	継続
		開始	S46	終了	
事務事業名	中小企業金融対策事業				
	主要区分	主	記号	計画等名称	
	戦略計画				
	分野別計画			地域経済活性化プログラム	
法令・例規等	○	飯田市中小企業振興資金融資あっせん規則			
事業目的	対象	市内の中小企業者等（中小企業者・個人事業者・中小企業団体）			
	意図	経営安定、事業拡大等のための運転資金又は設備資金の調達容易化			

2 事業内容

2年度取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)				
	金融政策課の基幹業務である制度資金事務を正確かつ適正に実施しました。 当市扱い分の融資あっせんの合計は、前年度：444件、2,540,670千円に対し、本年度：370件、6,966,060千円となり、件数は減少、金額は増加となりました。 また、新型コロナウイルス感染症対策として、当市独自の「新型コロナウイルス対策借換え支援補助金」及び「新型コロナウイルス対策資金」により中小企業の資金繰りを支援しました。		中小企業振興資金	保証料			165,261				
			中小企業振興資金	利子補給金			6,481				
			中小企業振興資金	預託金			1,288,500				
			その他の経費				0				
活動指標	指標名 (数値で表せる活動量)	単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		
			計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	
	中小企業振興資金の制度見直し実施回数	回	1	1	1	1	1	3	1	1	
2年度決算(千円)	予算額	1,597,000	特定財源内訳及び補足事項								
	決算額	1,460,242	(国)地方創生臨時交付金(10/10)								
	財源の状況	国庫支出金	80,379	(そ)預託金回収金							
		県支出金	0								
		地方債	0								
		その他	1,288,500								
一般財源	91,363										

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	7	1	3	11	1	1,597,000	1,460,242	中小企業金融対策事業費
2									
3									
4									
5									
6									
7									
振り返り課題認識		セーフティネット保証、危機関連保証等の認定業務は、新型コロナウイルス感染症の影響により、前年度：48件に対し、今年度：2,155件と大幅な増加となりました。 この業務は、中小企業者の切迫した資金繰り対応に直結するため、迅速な処理が必要となっています。							
上記の課題解決のための有効策		新型コロナウイルス感染症に対応する業務は、正確性に加え迅速性が求められています。 飯田商工会議所中小企業相談所、金融機関、信用保証協会と連携を密にした対応を継続します。 また、業務全体を迅速、かつ、効率的に処理できるよう改善を図る必要があります。							
次年度に向けての取り組み		新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい経済状況が継続しますが、アフターコロナを見据え、創業支援資金、I-Port支援資金により、創業、新事業創出の支援を継続します。 また、必要に応じて新たな資金や補助制度などを検討します。							

1 事業概要

事務事業名		社会基盤維持管理事業		課名	土木課	事業No.	235	
				会計	一般会計			
				事業区分	経常	実施区分	継続	
根拠		主要区分	主	記号	計画等名称			
		戦略計画						
		分野別計画	○	飯田市舗装長寿命化修繕計画				
				橋梁長寿命化修繕計画				
法令・例規等		建設リサイクル法						
事業目的		対象	飯田市が管理する道路、河川、水路					
		意図	道路、河川、水路の維持管理					

2 事業内容

2年度取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)	
	老朽化などにより傷んだ道路・橋梁・河川・排水路を早期に発見・補修すると共に、付属施設の維持管理を計画的に行っていくことで、効率的、経済的に社会基盤の強化を図りました。河川災害防止のため緊急浚渫事業に取り組みました。また、沿道の支障木や街路樹の管理、冬期の除融雪などを適期に行うことで、安全な交通の確保を図りました。	道路補修事業	211,666	道路舗装補修事業	224,516	道路維持管理事業	31,616	除雪費
	橋りょう補修事業	7,100	河川維持補修事業	21,374	りんご並木管理費	3,399	街路管理費	23,614
	その他の経費	0						

活動指標	指標名 (数値で表せる活動量)	単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
			計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
	社会基盤維持補修工事	個所	350	298	350	413	350	358	350	357
	施設補修用資材支給個所	個所	150	140	150	108	150	150	150	132
	舗装補修工事	個所	200	248	200	212	200	198	200	165
	社会基盤維持管理業務委託	個所	70	43	70	76	65	72	70	56

2年度決算(千円)	予算額		636,921	特定財源内訳及び補正事項						
	決算額		602,357	(国) 社会資本整備総合交付金(除雪)(2/3)						
	財源の状況	国庫支出金	11,354	(地) 公共施設等適正管理推進(充当率90%) 20,200千円						
		県支出金	0	(地) 緊急浚渫推進(充当率100%) 9,700千円						
		地方債	29,900	(そ) 繰越金						
		その他	9,087	1→2 繰越明許費 9,087千円						
一般財源		552,016								

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	8	2	2	1	3	7,825	7,322	会計年度任用職員人件費
2	1	8	2	2	10	1	217,225	207,888	道路補修事業費
3	1	8	2	2	11	1	232,940	222,872	道路舗装補修事業費
4	1	8	2	2	12	1	120,533	108,788	道路維持管理事業費(除雪費含む)
5	1	8	2	4	10	1	7,684	7,100	橋りょう補修事業費
6	1	8	3	2	10	1	22,088	21,374	河川維持補修事業費
7	1	8	4	3	10	3	28,626	27,013	街路管理費(りんご並木管理費含む)
振り返り課題認識		多くの水路、道路施設等の経年劣化・老朽化による損傷個所が増加する中、迅速に対応する必要があります。特に舗装補修工事については、誘導員や労務の確保が出来ず工事の見送りや繰越が発生しています。災害を未然に防ぐために緊急性の高い個所から修繕、補修を行っていますが、すべての個所の対応ができない状況です。委託業者社員の高齢化・人出不足のため、維持工事及び除雪対応が難しくなる地域が今後出る事が予想されます。							
上記の課題解決のための有効策		市道の管理方針による点検を行い、市道の重要度を勘案した修繕・補修を進めます。早期発注による維持補修工事の推進を進めます。維持補修体制及び除雪体制の見直しの検証を進めます。							
次年度に向けての取り組み		橋梁長寿命化修繕計画にもとづいた維持補修を実施します。維持補修、除雪体制に係わる業者との懇談会を行います。地区要望で提出された維持補修依頼の早期実施に取り組みます。							

1 事業概要

事務事業名		天竜川総合学習館管理運営事業		課名	管理課	事業No.	242
				会計	一般会計		
				事業区分	政策	実施区分	継続
				開始	H14	終了	
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称			
	戦略計画						
	分野別計画						
	法令・例規等	○	天竜川総合学習館管理運営要領				
事業目的	対象	1 幼児、市内小中学生及び一般市民（市民） 2 講座参加者					
	意図	生涯学習、環境学習、河川防災等の講座を開催し、自然・環境・防災等に対する意識の高揚を図る。					

2 事業内容

2年度 取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)				
	新型コロナウイルス感染拡大防止のため4、5月を休館。また、かわらんべ祭りを中止しました。 感染対策を図る中で、分散や小規模化による講座を開催し、環境等の学習を推進するとともに、天竜川の災害や自然環境の展示等を実施して一般観覧者に対応しました。併せて、小中学校などの総合学習の場としても活用していただき、河川やこの地域の自然・環境・歴史・文化などを題材にした生涯学習の推進を図りました。 ・かわらんべ講座の開催 82回		環境学習等の開催及び施設の管理				5,874				
			会計年度任用職員人件費				2,640				
		その他の経費				0					
活動指標	指標名 (数値で表せる活動量)	単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		
			計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	
	講座開催数	回	100	105	105	105	105	96	103	82	
	来園、来校回数	回	60	59	60	63	60	62	60	34	
	来館者数	人	32,000	34,308	32,000	31,474	32,000	29,609	32,000	21,145	
2年度 決算 (千円)	予算額	8,663	特定財源内訳及び補足事項								
	決算額	8,514									
	財源の 状況	国庫支出金	0								
		県支出金	0								
		地方債	0								
その他		0									
	一般財源	8,514									

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	8	3	1	12	1	5,976	5,874	天竜川総合学習館管理費
2	1	8	3	1	1	3	2,687	2,640	会計年度任用職員人件費
3									
4									
5									
6									
7									

振り返り課題認識	新型コロナウイルス感染対策を図る中での施設運営、事業実施が求められています。								
上記の課題解決のための有効策	様々な情報や意見を受け止める中、安全な施設運営、事業実施を推進するための対処方法を研究しながら、適切に運営していくことが大切です。								
次年度に向けての取り組み	引き続き新型コロナウイルス感染対策に取り組みながら、より安全な施設運営、事業実施を行います。								

1 事業概要

		課名	地域計画課	事業No.	246
事務事業名		土地利用計画推進事業	会計	一般会計	
			事業区分	政策	実施区分
			開始	H19	終了
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称	
	戦略計画	○	12	リニア時代を支える都市基盤を整備する	
	分野別計画			国土利用計画、土地利用基本方針、景観計画、緑の基本計画	
法令・例規等			国土利用計画法、都市計画法、景観法、都市緑地法、屋外広告物法		
			土地利用基本条例、土地利用調整条例、都市計画法施行条例、景観条例、緑の育成条例等		
事業目的	対象	飯田市全域			
	意図	計画に基づく土地利用が行われる			

2 事業内容

2年度取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)			
	・土地利用基本方針（竜丘地域土地利用方針）の変更を令和2年5月1日付けで行いました。 ・土地利用基本方針（上久堅地域土地利用方針）及び景観計画（上久堅地域景観計画）の変更並びに屋外広告物条例施行規則の改正等を令和3年3月1日付けで行い、上久堅地区全域を景観育成特定地区として屋外広告物の基準を強化しました。 ・近年の災害の発生状況等を踏まえ、開発等に対する適切な指導と、地域住民等の不安やトラブルを未然に防止するため、土地利用調整条例等の改正を令和3年3月25日付けで行いました。		土地利用基本方針策定事業費		324					
			景観形成推進事業費		7					
		その他の経費		0						
活動指標	指標名（数値で表せる活動量）	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度				
			計画	実績	計画	実績	計画	実績		
	土地利用関係計画の策定・変更に取り組んでいる	地区数	2	2	2	3	4	2	6	5
	土地利用計画に係る例規の制定・改正をした	件数	3	6	6	8	6	5	3	7
2年度決算(千円)	予算額	1,268	特定財源内訳及び補足事項							
	決算額	331								
	財源の状況	国庫支出金	0							
		県支出金	0							
		地方債	0							
		その他	0							
一般財源	331									

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	8	4	1	10	5	1,159	324	土地利用基本方針策定事業費
2	1	8	4	1	10	6	109	7	景観形成推進事業費
3									
4									
5									
6									
7									
振り返り課題認識		・リニア関連事業との調整や住民等の合意形成を踏まえながら、引き続き適正な土地利用と良好な景観保全等について制度や計画づくりを進める必要があります。 ・リニア開通だけでなく、三遠南信自動車道の開通も見据えた土地利用について、全市的又は広域的な視点に立って、市民と協働で取り組む必要があります。							
上記の課題解決のための有効策		・リニアや三遠南信自動車道の開通を見据え、関係機関や関係する地域との協議により状況を把握するとともに、変化等に対応するため連携して取り組みます。 ・各地域での検討状況に応じ、勉強会の開催や検討組織の支援など引き続き、積極的に地域と連携していきます。							
次年度に向けての取り組み		・リニア時代を見据えた土地利用計画の推進に向けて、関係機関や地域との協議を進めます。また、地域の皆さんとの検討を踏まえ、土地利用基本方針（地域土地利用方針）や景観計画（地域景観計画）の見直しを行うとともに、土地利用や景観のあり方のルールづくりのための取組を進めます。							

1 事業概要

課名		土木課	事業No.	248
会計		一般会計		
事業区分		経常	実施区分	継続
開始			終了	
事務事業名		公園維持管理事業		
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称
	戦略計画			
	分野別計画			
	法令・例規等	○		都市公園法 飯田市都市公園条例
事業目的	対象	市民、公園		
	意図	公園利用者が安全・安心して利用できる環境整備		

2 事業内容

2年度 取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)				
	都市公園、その他公園における樹木の整枝・剪定・病虫害駆除を実施しました。また遊具、トイレ等の公園施設の修繕・補修工事を24カ所実施し、利用者の安全と快適性を確保しました。		都市公園等維持管理費				66,714				
			(県)風越公園維持管理費				3,735				
			会計年度任用職員人件費				1,871				
			その他の経費				0				
活動指標	指標名 (数値で表せる活動量)	単位	平成29年度 計画	平成29年度 実績	平成30年度 計画	平成30年度 実績	令和元年度 計画	令和元年度 実績	令和2年度 計画	令和2年度 実績	
	施設の補修箇所数	個所	25	28	16	23	20	14	20	24	
2年度 決算 (千円)	予算額	73,669	特定財源内訳及び補足事項								
	決算額	72,320	(県)風越公園管理委託金 (そ)太陽光発電収入(都市公園)								
	財源の 状況	国庫支出金	0								
		県支出金	3,744								
		地方債	0								
		その他	47								
一般財源	68,529										

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)	
1	1	8	4	5	13	1	67,976	66,714	都市公園維持管理費	
2	1	8	4	5	13	2	3,744	3,735	(県)風越公園維持管理費	
3	1	8	4	5	1	3	1,949	1,871	会計年度任用職員人件費	
4										
5										
6										
7										
振り返り課題認識		樹木の高木化に伴い、剪定、病虫害駆除、落ち葉清掃等の維持管理が増加しています。地元愛護会と連携して維持管理を行っていますが、高齢化、住民減少などの理由により愛護会の活動が縮小しています。								
上記の課題解決のための有効策		落ち葉清掃機の貸与、維持管理に必要な資機材の支給を行い、地域住民の労力軽減を図り、継続した維持管理をお願いしていきます。また、各公園ごとに公園内の樹木のあり方について検討していく必要があると考えています。								
次年度に向けての取り組み		愛護会も高齢化や住民減少による労力低下という問題を抱えているため、落ち葉清掃機やプロア-の貸与を行います。								

1 事業概要

				課名	土木課	事業No.	249
				会計	一般会計		
				事業区分	経常	実施区分	継続
				開始		終了	
事務事業名	飯田子どもの森管理運営事業						
	主要区分	主	記号	計画等名称			
	戦略計画						
	分野別計画						
法令・例規等	飯田市公の施設の指定管理者の指定の手続き等に関する条例						
	都市公園法・飯田市都市公園条例						
	○ 平成記念飯田子どもの森公園条例						
事業目的	対象	市民、公園					
	意図	様々な体験活動の場を児童に提供し、健やかな成長に資するとともに、安全・安心して公園を利用できるための管理運営。					

2 事業内容

2年度 取組	取組内容			経費の内容				事業費(千円)	
	遊具の点検、園地の清掃、草刈り、除草、植栽の整備を行いました。また、指定管理者及び各種関係団体主催のイベントを実施しました。経年劣化による遊具や、吊り橋等の補修工事を実施しました。			飯田子どもの森公園指定管理料				28,338	
				公園施設改修工事費				8,029	
				その他の経費				0	
活動指標	指標名 (数値で表せる活動量)	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度		令和2年度		
			計画	実績	計画	実績	計画	実績	
	入園者数	人	100,000	111,750	100,000	115,995	100,000	148,240	
	事業実施数 (イベント等)	回	600	687	600	600	600	773	
2年度 決算 (千円)	予算額	36,502	特定財源内訳及び補足事項						
	決算額	36,367	(そ) ふるさと寄附金						
	財源の 状況	国庫支出金	0						
		県支出金	0						
		地方債	0						
その他		200							
	一般財源	36,167							

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	8	4	5	14	1	36,502	36,367	飯田子どもの森公園維持管理費
2									
3									
4									
5									
6									
7									
振り返り課題認識		<ul style="list-style-type: none"> ・木材を使用した施設が多いため、老朽化が進行しています。公園利用者が安全・安心して施設を利用できるよう、計画的な改修・修繕を図っていく必要があります。 ・コロナ感染対策のため、61日間各施設を閉鎖した影響で来園者が例年に比べ大幅に減少しました。 							
上記の課題解決のための有効策		<ul style="list-style-type: none"> ・定期点検や日常点検の回数を増やし、施設の異常個所の早期発見、迅速な修繕を行う事で施設の長寿命化を図ります。 ・コロナ収束にはまだかなりの時間がかかることから、感染対策等を強化し、来園者が例年並みに戻るよう指定管理者と協議を行います。 							
次年度に向けての取り組み		<ul style="list-style-type: none"> ・定期点検や日常点検により異常個所が見つかった場合には、迅速な修繕・改築工事を実施します。 							

1 事業概要

事務事業名		大平宿泊訓練施設管理事業			課名	学校教育課	事業No.	267	
					会計	一般会計			
					事業区分	経常	実施区分	継続	
					開始		終了		
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称					
	戦略計画								
	分野別計画								
	法令・例規等	○	飯田市大平宿泊訓練施設設置条例						
			飯田市大平宿泊訓練施設設置条例施行規則						
事業目的		対象	大平宿泊訓練施設						
		意図	青少年が宿泊訓練を行うための施設の提供と必要な維持						

2 事業内容

2年度取組	取組内容	経費の内容	事業費(千円)
	1 施設の修理修繕をしました。	施設の修繕	93
2 施設の維持管理をしました。	施設の管理費用	125	
給水ポンプ等の保守点検、汚物汲取り、清掃・草刈り、光熱費・建物保険等の必要経費ほか	借地料	49	
3 敷地の借地に係わる賃貸借業務をしました。			
4 施設の安全性を確保できないため、貸出業務を令和2年度より停止しました。			
	その他の経費	0	

活動指標	指標名 (数値で表せる活動量)	単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
			計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
	管理施設数	棟	3	3	3	3	3	3	3	3

2年度決算(千円)	予算額	350	特定財源内訳及び補足事項								
	決算額	267	(そ) 大平宿泊訓練施設使用料								
	財源の状況	国庫支出金	0								
		県支出金	0								
		地方債	0								
		その他	1								
一般財源	266										

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大事業	中事業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	1	3	10	2	350	267	大平宿泊訓練施設管理費
2									
3									
4									
5									
6									
7									

振り返り課題認識	当該年度は、照明器具の修繕を行いました。 当該施設が歴史的意義を有するものの、施設の維持管理等今後の在り方については、大平宿全体の方針を踏まえ検討する必要があります。
上記の課題解決のための有効策	自然とのふれあいや環境学習の目的で設置していますが、旧大平宿の周辺施設との関係、観光面からの利活用の観点から、整理していくことも考えられます。
次年度に向けての取り組み	施設の貸出業務の停止を継続しつつ、大平宿全体の方針を踏まえ、今後の施設の在り方について検討します。

1 事業概要

		課名	公民館	事業No.	298
事務事業名		会計	一般会計		
		事業区分	政策	実施区分	継続
		開始		終了	
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称	
	戦略計画	○	4	自然と歴史を守り活かし伝え、新たな文化をつくりだす	
			9	個性を尊重し、多様な価値観を認め合いながら、交流する	
	分野別計画			飯田市版総合戦略	
				飯田市教育振興基本計画	
			飯田市公民館基本方針		
法令・例規等			社会教育法		
			飯田市公民館条例		
事業目的	対象	各地区住民、全市民			
	意図	地区の特色を生かした多様で主体的な学びを通して、地域の自治を担う人材の育成をめざす。			

2 事業内容

2年度 取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)				
	・地区住民が主体的に企画運営する各種学級講座を実施しました。 ・コンサート等を通じて市民が芸術文化に親しみました。また、地域に伝わる伝統文化の継承活動を支援しました。 ・郷土を学ぶ学習や交流を通じて、ふるさと意識の醸成を図りました。 ・体に優しい軽スポーツ等、健康に関する学習や交流を通じて健康への関心を高めました。 ・自然体験を通じて身近な環境に関心を持つ学習に取り組みました。 ・人権平和、多文化共生に関する学習に取り組みました。		市民大学、高齢者学級等の学習交流					2,081			
			ふるさとコンサート、伝統文化継承活動等					201			
			ふるさと学習、教材作成等					531			
			健康講座、ニューススポーツ交流等					102			
			環境講座、保全活動等					115			
			日本語教室や国際理解教育、平和学習等					886			
			会計年度任用職員(社会教育コーディネーター)					1,843			
					その他の経費			0			
活動指標	指標名(数値で表せる活動量)	単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		
			計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	
	講座等開催数	回	1,500	1,463	1,500	1,466	1,500	1,484	1,500	1,394	
	講座等延べ参加者人数	人	45,000	49,823	45,000	50,023	50,000	43,953	50,000	26,367	
	専門委員・実行委員等の人数	人							895	893	
2年度 決算 (千円)	予算額	8,514	特定財源内訳及び補足事項								
	決算額	5,759	(国) 過疎地域等自立活性化推進交付金(10/10)								
	財源の 状況	国庫支出金	150	(そ) 自治体国際化協会助成金(10/10)							
		県支出金	0								
		地方債	0								
		その他	600								
一般財源	5,009										

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	5	4	11	2	6,479	3,916	公民館事業費
2	1	10	5	4	1	3	2,035	1,843	会計年度任用職員人件費
3									
4									
5									
6									
7									
振り返り課題認識		・住民の皆さんが参加しやすい学習交流活動となるよう、雰囲気や内容を常に見直していくことが必要です。 ・住民自治の意識を育むため、身近な地域課題をテーマにした学習に取り組む必要があります。 ・地域を担う次世代育成として、青壮年を対象とする事業を組み立てる必要があります。							
上記の課題解決のための有効策		・学級や講座に参加しやすい雰囲気づくりに心がけるとともに、住民主体の企画運営となるよう対話を十分に重ねます。 ・住民の皆さんとの常日頃の会話に関心を持ち、地域の状況の把握に努めます。 ・地域を担う人材育成につながる講座や学級のあり方をさらに検討します。							
次年度に向けての取り組み		・住民の主体的な企画・運営による事業をさらに進めるとともに、より地域課題や生活課題を捉えた学習・講座を展開します。 ・青年層を対象とした講座の組立てに取り組みます。							

1 事業概要

		課名	美術博物館	事業No.	307
事務事業名		会計	一般会計		
		事業区分	政策	実施区分	継続
		開始		終了	
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称	
	戦略計画	○	4	自然と歴史を守り活かし伝え、新たな文化をつくりだす	
	分野別計画			第2次飯田市教育振興基本計画	
				飯田市美術博物館2028ビジョン・基本プラン	
法令・例規等			博物館法		
			飯田市美術博物館条例		
事業目的	対象	伊那谷の自然、人文、美術に関する事象や資料			
	意図	調査、研究、整理し、市民が活用できる状態にする			

2 事業内容

2年度取組	取組内容			経費の内容				事業費(千円)		
	・地域の自然と文化についての継続的な調査を進めると共に、感染症などの時節に対応したテーマを設定し調査研究を進めました。 ・コロナ禍において、研究成果を発表する機会は回数や人数など制限されましたが、ホームページの活用や動画配信などを行いました。 ・調査研究の成果を、展示図録・研究紀要・年報・伊那谷自然史論集等により公表しました。 ・収蔵されている古文書13件9,937件の目録をデータベース化し、ホームページで閲覧できるようにしました。			自然調査研究費			984			
				人文調査研究費			337			
				美術調査研究費			937			
				図書整理公開費			20			
				自然史論集印刷			274			
				研究紀要印刷			525			
				霜月祭記録映像編集			1,320			
				専門研究員等			12,815			
				その他の経費			0			
活動指標	指標名 (数値で表せる活動量)	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度				
			計画	実績	計画	実績	計画	実績		
	研究発表数	件	12	40	24	52	24	47	40	37
	資料登録件数/美術資料作品登録点数	点	300	384	200	9	20	18	20	8
	資料修復点数	点	6	41	3	3	4	35	3	48
	人文資料登録点数	点	110	111	108	106	112	116	100	243
	自然資料登録点数	点			100	174	100	322	50	1,751
2年度決算(千円)	予算額	18,426	特定財源内訳及び補足事項							
	決算額	17,212	(県)市町村合併特例交付金							
	財源の状況	国庫支出金	0	(そ)諸収入						
		県支出金	1,200							
		地方債	0							
		その他	482							
一般財源	15,530									

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	5	6	11	27	5,596	4,397	美術博物館資料調査研究・収集保管事業費
2	1	10	5	6	1	3	12,830	12,815	会計年度任用職員人件費
3									
4									
5									
6									
7									
振り返り課題認識		・美術博物館の機能を担っていくためには継続的な調査研究と学芸体制の整備が必要です。 ・収蔵場所の確保について、社会教育機関全体で検討していく必要があります。							
上記の課題解決のための有効策		・地域の魅力を発信する展示や充実した教育普及を展開するため長期的な視野で調査研究活動を行います。 ・地球温暖化防止等、将来に繋がる基礎的な調査研修を継続します。 ・貴重な作品や資料を収蔵保管するための検討を進めます。							
次年度に向けての取り組み		・調査研究で得られた成果を展示公開や教育普及により市民に還元します。 ・資料を整理し活用に繋がります。							

1 事業概要

		課名	美術博物館	事業No.	308
事務事業名		会計	一般会計		
		事業区分	政策	実施区分	継続
		開始	H1	終了	
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称	
	戦略計画	○	4	自然と歴史を守り活かし伝え、新たな文化をつくりだす	
	分野別計画			第2次飯田市教育振興基本計画	
				飯田市美術博物館2028ビジョン・基本プラン	
法令・例規等			博物館法		
			飯田市美術博物館条例		
事業目的	対象	飯田市民及び下伊那郡住民、観光客 伊那谷に関する自然・人文・美術に関するテーマ、芸術			
	意図	「伊那谷の自然と文化」への理解を深める			

2 事業内容

2年度取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)				
		・自然部門では、南アルプスの希少植物など3本のトピック展示を行いました。 ・人文部門では、日夏耿之介生誕130年を記念した特別陳列の他4本のトピック展示を行いました。 ・美術部門では、春草常設展示8本その他、コレクション展示7本、信濃美術館交流名品展を行いました。また、竜丘地区等との協働により「竜丘児童自由画100周年展」も行いました。 ・第21回現代の創造展が開催され地域ゆかりの作家の作品149点が展示されました。 ・子ども美術学校参加者の作品展を行いました。	自然トピック展示	713	人文トピック展示	357	自由画展・企画展	3,613	菱田春草常設展示	2,106	
		コレクション展示他美術展示	2,113	柳田國男館展示	45	日夏耿之介記念館展示	182	春草特別展準備	38		
		その他の経費	0								
活動指標	指標名 (数値で表せる活動量)	単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		
			計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	
	観覧者数	人	32,000	33,208	30,000	30,361	37,000	31,795	35,500	22,863	
	展覧会開催数	回	17	17	23	23	28	28	27	27	
	市内小学校の学習来館者数	人							900	904	
2年度決算(千円)	予算額	11,670	特定財源内訳及び補正事項								
	決算額	9,167	(そ) 美術博物館観覧料 205千円								
	財源の状況	国庫支出金	0	(そ) 諸収入 153千円							
		県支出金	0								
		地方債	0								
		その他	358								
一般財源	8,809										

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	5	6	11	28	11,670	9,167	美術博物館展示公開事業費
2									
3									
4									
5									
6									
7									
振り返り課題認識		・地域の自然の特殊性や文化の多様性、郷土の先人の偉業を紹介し、地域への愛着や誇りを育む企画が必要です。 ・トピック展示コーナーを活用し、時節を捉えたテーマによる展示により話題性を高めることも必要です。							
上記の課題解決のための有効策		・調査研究の成果をより分かりやすく紹介します。 ・地域の魅力や作品の素晴らしさを身近に感じ、学びに繋がる展示を行います。							
次年度に向けての取り組み		・春草没後110年特別展を開催し、氏を顕彰し作品の素晴らしさを紹介しまちづくりにも繋げて行きます。 ・三六災害60年を記念し、その記録をを自然、人文の各分野の視点で紹介すると共に防災意識の向上にも繋がります。 ・他の社会教育機関等と連携した展示公開を行います。							

1 事業概要

		課名	美術博物館	事業No.	309
事務事業名		会計	一般会計		
		事業区分	政策	実施区分	継続
		開始	H1	終了	
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称	
	戦略計画	○	4	自然と歴史を守り活かし伝え、新たな文化をつくりだす	
	分野別計画			第2次飯田市教育振興基本計画	
				飯田市美術博物館2028ビジョン・基本プラン	
法令・例規等			博物館法		
			飯田市美術博物館条例		
事業目的	対象	飯田市民及び下伊那郡住民			
	意図	「伊那谷の自然と文化」の特性と魅力を美術博物館で学び合う			

2 事業内容

2年度取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)		
		<ul style="list-style-type: none"> ・自然部門では、講演会1回と自然講座7回を伊那谷自然友の会との共催により開催し326人の参加がありました。 ・人文部門では、文化講座をCATV放送も含め10回開催し199人の参加がありました。また、古文書に関する2つの講座をそれぞれ11回開催し延374人が受講しました。 ・美術部門では、春草講座や展示関連講演会など4回を開催し116人が参加しました。 ・子ども美術学校には延432人が参加し思い思いの作品を作製、作品展を開催しました。 ・美博まつりはコロナ禍の中、分散開催とし14のワークショップに1,038人が参加しました。 	<ul style="list-style-type: none"> 自然部門教育普及 人文部門教育普及 美術部門教育普及 総合教育普及 研究費助成 専門研究員等 その他の経費 	174	327	251	1,414	2,400	2,229

活動指標	指標名 (数値で表せる活動量)	単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
			計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
	講座等開催数	回	93	185	105	175	160	172	160	67
	講座等参加者数	人	7,000	7,138	5,500	5,017	5,500	6,235	5,500	1,447
	美博まつり参加者数	人	2,000	1,988	2,000	1,508	1,000	1,283	1,000	1,038
	市民ギャラリー観覧者数	人	15,000	16,410	15,000	17,635	15,000	17,963	16,000	6,631

2年度決算(千円)	予算額		7,856	特定財源内訳及び補足事項						
	決算額		6,795	(そ) ふるさと基金繰入金 2,000千円						
	財源の状況	国庫支出金	0	(そ) 美術博物館施設使用料 186千円						
		県支出金	0	(そ) 美術博物館講座受講者負担金 150千円						
		地方債	0	(そ) 諸収入 100千円						
その他		2,436								
一般財源		4,359								

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	5	6	11	29	5,583	4,566	美術博物館教育普及・活動事業費
2	1	10	5	6	1	3	2,273	2,229	会計年度任用職員人件費
3									
4									
5									
6									
7									
振り返り課題認識		<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の拡大により計画した講座等が人数制限や中止、延期となりました。 ・感染症対策も含め、参加したくても出来ない方への対応も考えていく必要があります。 ・学びを通じて地域の魅力を確認し地域への誇りに繋がる取り組みも必要です。 							
上記の課題解決のための有効策		<ul style="list-style-type: none"> ・ICT技術等を活用した講師の招聘や講座等への参加など、多様な学びに対応する講座等の開催方法を検討します。 ・講座やワークショップが「学び」の入口になるような企画を提案します。 ・学習来館が地域の魅力や先人の偉業を知る機会となるよう小中学校と連携を深めます。 							
次年度に向けての取り組み		<ul style="list-style-type: none"> ・地域の魅力や先人の偉業に興味を持てる講座や子どもたちが気軽に訪れたいワークショッップ等を提案します。 ・展示と連動した講座の開催等により受講者の理解を深めます。 							

1 事業概要

事務事業名	美術博物館プラネタリウム運営事業			課名	美術博物館	事業No.	310
				会計	一般会計		
				事業区分	政策	実施区分	継続
				開始	H1	終了	
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称			
	戦略計画	○	4	自然と歴史を守り活かし伝え、新たな文化をつくりだす			
		第2次飯田市教育振興基本計画					
	分野別計画	飯田市美術博物館2028ビジョン・基本プラン					
		博物館法					
法令・例規等	飯田市美術博物館条例						
	事業目的						
対象		飯田市民及び下伊那郡住民					
意図		ふるさとの自然や文化、星空の持つ魅力に気付き、地域を大切にすることを育むとともに、地球を見つめ宇宙を夢見る広い視点と豊かな発想力を養う。					

2 事業内容

2年度取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)				
	活動指標	<ul style="list-style-type: none"> 太陽系をテーマに火星の最接近や他の惑星を題材にして番組投影や事業を展開しました。 投影事業では、天文への関心を高めるための学校や地域の予約投影への対応や星空解説やオリジナル番組を組み合わせ地域の魅力も発信しました。 教育普及事業では、部分日食や惑星を題材にした観望会や講座を開催したほか、飯田宇宙教育では小惑星探査機の地球帰還10周年と「はやぶさ2」をテーマにオンラインイベントを開催し1,000人以上の方が参加されました。 また、地域や団体との連携による観望会やスタンプラリーも実施しました。 	一般番組制作(委託)	3,960	学習番組制作(委託)	2,153	プラネタリウムチラシなど(印刷)	646	東京五輪での多目的利用(保安員含む)	0	
飯田・宇宙教育事業			127	協議会・研修関係(旅費)	0	機器保守管理費・修繕料	572	著作権料・事務・管理費・消耗品費	681		
新型コロナ対策			632	会計年度任用職員	3,121	その他の経費	0				
指標名(数値で表せる活動量)			単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度				
				計画	実績	計画	実績	計画	実績		
プラネタリウム観覧者数			人	17,000	13,497	13,000	12,471	14,000	12,647	18,000	4,812
プラネタリウム投影回数			回	1,000	858	800	786	800	640	800	312
ドームイベント回数			回	10	11	10	11	12	12	12	12
オリジナル番組制作数			本	1	1	1	1	0	0	0	0
宇宙天文教育回数(観望会・館外活動)			回	10	16	10	16	15	22	20	15
飯田天文ネットワーク活動回数	回							12	6		
2年度決算(千円)	予算額	12,956	特定財源内訳及び補足事項								
	決算額	11,892	(そ)美術博物館観覧料 372千円								
	財源の状況	国庫支出金	0	(そ)ふるさと寄附金 4,600千円							
		県支出金	0								
		地方債	0								
		その他	4,972								
一般財源	6,920										

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	5	6	11	30	9,711	8,771	美術博物館プラネタリウム運営事業費
2	1	10	5	6	1	3	3,245	3,121	会計年度任用職員人件費
3									
4									
5									
6									
7									
振り返り課題認識 ・コロナ禍の中、回数や人数の制限、感染症対策を行いながら投影を行いました。 ・学習来館した小中学校のほとんどが星空解説、学習番組やオリジナル番組を観覧しました。 ・プラネタリウムの構造上、密閉空間になることから当面は感染症に対応した投影が必要です。									
上記の課題解決のための有効策 ・学習来館に際しては、学習番組を充実すると共に、回数や人数の制限に対応するため、展示観覧との併用を提案します。 ・一般の来館者を増やしていくために施設の多目的な利用を検討します。									
次年度に向けての取り組み ・学習来館に対応した番組や観覧方法など、各学校の要望に沿って対応します。 ・天文への興味関心を高めるため、各地域や公民館等と連携した取組を進めます。									

1 事業概要

課名		林務課	事業No.	327
会計		一般会計		
事業区分		政策	実施区分	継続
開始			終了	
事務事業名		林道災害復旧事業		
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称
	戦略計画			
	分野別計画	○		飯田市森林整備計画
	法令・例規等			農林水産業施設災害復旧事業費国庫補助の暫定措置に関する法律
事業目的	対象	林道施設の災害箇所		
	意図	原状回復を図る		

2 事業内容

2年度 取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)				
	台風や豪雨災害で被災した林道復旧工事を実施しました。		林道災害復旧工事(単独)				64,158				
			その他の経費				0				
活動指標	指標名 (数値で表せる活動量)	単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		
			計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	
	復旧した箇所	箇所	-	57	-	119	-	57	-	95	
2年度 決算 (千円)	予算額	64,200	特定財源内訳及び補足事項								
	決算額	64,158	(地) 災害復旧 (農林) (充当率65%)								
	財源の 状況	国庫支出金	0								
		県支出金	0								
		地方債	16,000								
		その他	0								
一般財源	48,158										

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	11	1	10	11	1	64,200	64,158	林道単独災害復旧事業費
2									
3									
4									
5									
6									
7									

振り返り課題認識	近年、豪雨や台風が多く、災害発生の危険性が年々高まっています。
上記の課題解決のための有効策	通行車両の安全確保や森林整備の推進のため、日常の維持管理や保守点検を継続的に進めます。
次年度に向けての取り組み	工法検討や効率的な事業実施により、コスト削減を図ります。

1 事業概要

課名		環境課	事業No.	350
会計		墓地事業特別会計		
事業区分		経常	実施区分	継続
開始			終了	
事務事業名		市営墓地経営事業		
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称
	戦略計画			
	分野別計画			
	法令・例規等	○ 墓地、埋葬等に関する法律 及び 同施行規則 飯田市営霊園条例 及び 同施行規則		
事業目的	対象	飯田市内に居住の市民及び飯田市に本籍のある市営墓地の使用希望者		
	意図	市営墓地を希望する人のための墓地を整備し、墓地の良好な環境を保持する		

2 事業内容

2年度取組	取組内容	経費の内容		事業費(千円)
	<p>墓地経営は、維持管理の観点から地方公共団体が経営することが責務であり、市営霊園では、快適で衛生的な環境を保持するために公有部分の維持管理を行うことはもちろんのこと、使用者へも聖地内の管理について呼び掛けを行いました。常に使用者の把握に努め、承継や変更等を直ちに墓地台帳へ反映するよう努めました。柏原霊園販売促進策として、民間紙へ広告掲載を行い販売に注力しました。需要の高まりを受け、合葬式墳墓の2号基を西部霊園へ設置しました。</p>	一般管理費		8,381
墓地造成事業費			14,053	
積立金			802	
その他の経費			0	

活動指標	指標名 (数値で表せる活動量)	単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
			計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
	維持管理する霊園数	個所	4	4	4	4	4	4	4	4
	市営霊園新区画の造成	区画	0	0	0	0	0	0	0	0

2年度決算(千円)	予算額		30,154	特定財源内訳及び補足事項							
	決算額		23,236								
	財源の状況	国庫支出金		0							
		県支出金		0							
		地方債		0							
		その他		0							
一般財源		23,236									

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	8	1	1	1	10	1	9,636	8,381	一般管理費
2	8	1	1	2	10	1	19,716	14,053	墓地造成事業費
3	8	2	1	1	10	1	802	802	墓地事業基金積立金
4									
5									
6									
7									
振り返り課題認識		<p>1. 個人使用聖地で管理が不十分（植栽、雑草繁茂等）な箇所があります。 2. 柏原霊園、桐林墓地公園には、霊園内に支障木が数箇所あります。 3. 柏原霊園については、聖地の新規使用申込が滞っています。</p>							
上記の課題解決のための有効策		<p>1. 個人使用聖地内でも管理料により対応してくれると勘違いしている使用者がいるので、個別連絡や管理料納付書送付時に聖地内は個人で管理する旨を通知して周知を図ります。2. 霊園内支障木の計画的な伐採を行う必要があります。3. 柏原霊園の利点、魅力等の情報発信が必要と考えています。</p>							
次年度に向けての取り組み		<p>1. 納付書送付時、雑草繁茂時期（夏季～秋季）に状況を見ながら該当者へ通知して、啓発してまいります。 2. 計画的に支障木の伐採を行い、霊園内の環境整備を心掛けます。 3. 柏原霊園の特徴である自然環境をHP等へ掲載する等の情報発信を行う事を考えています。</p>							